

その人、田池留吉 第二卷
(ホームページより)

この冊子は、二〇一〇年四月から七月までに、田池先生と塩川香世さんのホームページ(<http://www13.ocn.ne.jp/~utamate/>)に掲載されたものです。

田池留吉の世界を感じていこう

七九、本当に幸せだなあと実感しています。今、瞑想をすることができ、これは本当に幸せなことだと思います。

ゆったりとした静かな時間と空間を持つること、最高に贅沢だと思っています。一日二十四時間のうち、たとえ一時間でも、自分を思う時間を自分に用意できるなんて、本当に幸せだと思います。

心に思い煩うことが何も無い。悩みが何も無い。ただこの道をまっすぐに歩んでいくことだけに思いを向けていける私は、本当に幸せ者です。

田池留吉、アルバートの世界に出会うことが私の生まれてきた目的でした。その世界を自分の中に広げ、本当の喜びと幸せを知っていくために、生まれてきました。

肉を持つ一人の自分だけを生きる目的に据え、その肉だけをとらえてきた哀しくも愚かな時間を気の遠くなるほど経てきました。

今、自分の中の優しさ、温もり、溢れる喜びを、肉を持って感じられる現実に、ただた

だありがとうの思いだけが出てきます。

泥沼の中で苦しみ喘いできた自分を、ようやく、温かい光溢れる世界にいざなう方法を知りました。こうすれば間違はなく本当の幸せと喜びが大きくなっていく、その手立てという手順というか、そういうものを心は知りました。

心でした。すべてはこの心でした。心が幸せでなければという真の意味を、心で知りました。心、意識の世界、本当の私、すべては瞑想で明らかになっていくのでした。

八〇、時間の余裕のある人は、一時間瞑想がお勧めです。生活のリズムの中で、一時間程度の瞑想の時間が確保できれば、いいと思います。

この学びをするにあたり、生活のリズムを整えることは、私は、とても大切なポイントの一つだと思っています。

きちんと手順を踏んでいけば、きちんとした成果が出ます。きちんとした手順の中に、生活のリズムを整えることは、もちろん大きな割合を占めるのです。なぜならば、肉を持って学ぶという段階だからです。そういう意味で肉はとても大切です。その肉を最大限に活かそ

うとしていけば、自ずと生活のリズムは整ってくるのです。

規則正しい生活、やはりそれが真実の意識の世界に直結していくことだと思えます。

そして、あと一つ、大きなポイントは、素直ということです。素直が一番です。

本当の喜びと幸せが分かってくれば、素直とはどういうことなのかも分かってきます。分かってくるから、さらに素直になっていきます。素直に心を向けるから、さらに感じ伝わってくる世界があるという循環です。もちろんその逆も大いにあり得ますけれども？

学んでいけば、田池留吉は、決して難しいことを語っているのではないことが分かります。しかし、実践のない人には難しいでしょう。まずは自分でやり始めることです。生活のリズムを整えて、素直になって、今という時間を大切にしていきましょう。そして、一時間瞑想を楽しんでいきましょう。

八一、アルバートの世界、幸せと喜び溢れる世界。そこには力強い喜びと幸せな世界しかありません。何もありません。ただただ真実へ続く道、それがアルバートへの道。そこに広がっていく思い、そこに広がっていく世界、真実へ続く道、喜び溢れる世界、力強い喜び溢れる世界。

ただただ喜びが広がっていく。ただただ幸せが広がっていく。それがアルバート。

瞑想をする中で、私は喜びです。アルバートを思うとき、田池留吉を思うとき、ただただ嬉しい、喜びが広がっていきます。力強い喜びが広がっていきます。しっかりとした喜びが広がっていきます。

そこには何もありません。ただ一つになって、ともに歩いていける、喜びを共有している、そんな時間をこれから経ていけることが、ただただ喜びです。

意識の流れを伝えにきてくれた田池留吉の意識、その世界。私の中に、その世界が広がっていきます。田池留吉の肉、真実を伝えにきてくれた肉でした。心の中に喜びが広がっていきます。

ああ、出会いをありがとう。ただただありがとう。嬉しい、嬉しい、嬉しい、本当に嬉しい。喜び溢れる世界によくこそ。はい、田池留吉の世界に心を向ければ、そんな思いがただただ広がっていきます。

何もありません。ただただ嬉しい、喜び、喜び、喜び、喜びの世界です。本当にありがとうございます。心の中に、苦しい、苦しい、間違ってきたたくさんの苦しい、苦しい意識達。ああ、しかし、喜びなんです。

それがすべて喜びなんです。これからの時間を感じています。自分の中の苦しくて狂った間違った意識をいざなっていける、それが本当に喜びなんです。田池留吉、アルバート、その道をこのように自分の中で確立させていただきました。本当に喜びです。ありがとうございます。

今、本当にありがとうをあなたに伝えたいです。心の中の喜び、溢れる思いをあなたに伝えています。異語で伝えています。心を広げていきます。どんどん広がっていきます。無限大に広がっていく田池留吉の世界。留まることはありません。どんどん広がっていきます。

八二、田池留吉、私の意識の世界、そのエネルギーは、これから二五〇年、三〇〇年の時間の中で、仕事をしてまいります。心の中に喜びの思い、その思いを宇宙に広げてまいります。

私はエネルギーです。喜びの仕事をしていきます。田池留吉、アルバート、その宇宙に目覚める意識達に呼びかけていきます。宇宙に点在する意識の世界に、私は、喜びを伝えていきます。

はい、私は、今、肉を持っています。しかし、肉を持っているとき、肉を持っていない

ときにかかわらず、私は、この意識の世界、エネルギーを、田池留吉、アルバートその方向に向け仕事をしてまいります。

はい、今は、このように、日本の国に一つの肉を持ち、田池留吉の真実の世界と出会わせたいと思っています。心一つにして、ともに歩みを進めていける私でございます。今、喜びを感じています。

私のこの肉を最大限に活かし、これからの時を過ごしてまいります。

色々な形で、私は喜びを表していきます。自分の心に伝わってくる田池留吉の世界を、どんな形に表していきます。心の中から伝わってくる波動を、私のこの肉を通して、この肉を使って仕事をしてまいります。田池留吉の肉があっても、なくても、私のこの心の中に伝わってくる波動の世界には何ら変わりはありません。私はこの肉を使い、その世界を流す仕事をしております。

そして、私もこの肉を離れたとき、私達は、ともに同じ方向を向き、宇宙に向けて仕事をしております。これからの二五〇年の時間、ああ、私達には、とても大切な時間です。二五〇年後に再び肉を持ち出会うまでの間、私達はともに仕事をしてまいります。その確信を今世させていただきました。

これからも、ともに歩みを進めていく喜びを伝えてまいります。心の中に伝わってくる田池留吉の世界、その真実の波動の世界を、形にしていきたいと思います。

八三、お母さん、私は幸せです。お母さん、お母さんあなたを思うとき、私は幸せです、お母さんありがとうございます、ただただそのことを伝えたい、伝えていきます。お母さん、私は幸せの中になりました。自分のこれからの時間が感じられて、とても嬉しいです。優しい母の中にいつも包まれながら、私は、この喜びと幸せを流していきます。

思いは、もう、二五〇年、三〇〇年の向こうにあります。私は、今、その自分を感じています。今世、アマテラスの国日本に肉を持ちました。私は、そのアマテラスの思いをしっかりと語ることに、今世の私の学びは最終段階に入っていきます。日本の国に肉を持ったこと、そのことについて、私の中でこれからの時間、しっかりと見つめていきます。しっかりと見つめていくことにより、私は、さらなる一步を踏み出していくでしょう。日本の国に肉を持ったことを、さらなる喜びとして、私は、自分の心に伝わってくる思いを語ってまいります。

アマテラスの国日本、今世を境にここから、真実への道が始まりました。アマテラスの国日本を、もう少し自分の中で見つめていこうとしています。それが私の今世の最終段階の学びです。この学びを自分の中できちんと仕上げ、私は、今の肉を終えていきます。日本の国にありがとうと感謝の思いを向け、私は、さらなる歩みを進めてまいります。

アマテラスを心から愛しています。アマテラスはとても愛しいです。その思いが私の基本にあります。その思いを基本にして、これからの時間の中で、アマテラスをもっと語っていききたいと思っています。

八四、瞑想をして、自分に思いを向けると自分が語り出します。自分のエネルギーを感じながら、私は私を語り続けます。

そのエネルギーの質が全く変わったことを感じます。瞑想は楽しいです。

自分を感じる時間、田池留吉、アルバートの中で自分と向き合える時間は、とても嬉しいです。ともにある幸せを感じます。

今世、宇宙にへドロを流し続けてきたエネルギーの質が変わったということは、大きな

出来事です。今世を境にしてという表現ですが、まさにその通りです。三次元の中における目覚め、その時間が今世でした。意識の流れが大きく変わる時間が今世、そしてあと一回は二五〇年後です。

アマテラスを具現化した日本の国が、跡形もなく海の底に沈んでいくことを、私は喜びで感じていきたいと思っています。そして、その喜びの思いは、宇宙へ瞬く間に伝わってきます。そのエネルギーはやがて、この地球全土に降り注がれます。そのような中に、私は喜びで肉を持つてきます。三次元最終の地、アメリカが待っています。多民族、多宗教の地で、真実の世界を喜び、喜びで伝えていきます。

私は本当に待ち遠しいです。これからの二五〇年の間に、幾度となく天変地異のエネルギーが、この地球に降り注がれていき、そしてそこに肉を持つ人間の意識の世界に、衝撃を与えていくからです。そんな転生を繰り返してきた意識達との出会いが、二五〇年後に実現していきます。宇宙からのメッセージが、今世よりも、はるかにスムーズに心に届いていくでしょう。私は、そんな意識達との出会いを、今から楽しみにしています。

二五〇年後は、文字通り宇宙とともに喜びの道をまっしぐらです。私は、それを今、心で感じているから、本当に嬉しいです。

八五、増補改訂版の「意識の流れ」を、どうぞよろしく末永く愛用していただく。

私達が今学んでいるのは、波動の世界です。肉を持ちながら、波動の世界を学んでいく、知っていくことは難しいけれど、肉を持たずには学べない世界です。

何しろ、真実の世界を垣間見るということは、今世が初めてなのだから、なかなか心に浸透していくことは難しくて当たり前です。

ただはつきりとしているのは、次元移行という流れがあることです。

そのために、田池留吉の肉があつたし、学びがあつたということです。

それらはみんな、意識の流れが現象化したものです。

意識の流れを心で感じられれば、こんな嬉しいことはありません。こんな楽しいことはありません。

宇宙へ思いを馳せる喜びが、心に明確に感じられます。宇宙を思える、宇宙を呼べる、それがたまらなく幸せということも、心ではつきりと感じられます。心に響いてくる宇宙は、ただただ嬉しい、ありがとう、です。

意識の流れは次元移行を指し示し、そして、宇宙を心に思い起こさせる喜びのエネルギー

です。そして、それが田池留吉の世界であり、アルバートという波動の世界です。

その世界と一つになる喜び、これはとてもとても頭では絶対に理解できないこと、そのこともはつきりとしています。

宇宙を感じるのが喜び、宇宙に思いを馳せることが喜び、その喜びを心に堪能していく時間が流れていく、こんな幸せはありません。

八六、今世の時間、残された時間、長い人もあれば短い人もあります。

自分に残された肉を持つ時間を大切にしていきましょう。

UTA会があるとかないとか、田池留吉の肉があるとかないとか、そういうことは、もうあまり関係がありません。

自分と自分の学びです。自分と自分の中の意識の世界の交信です。宇宙の中で、どのよう自分が存在していくか、ただそのことを瞑想を続けていく中で、心で感じていくそんな時間にしていきましょう。

自分の持ち時間に終わりがくれば、ありがたうと言ってその肉を離していけばいいだけ

です。

私は、この肉を離れたあと心の中に、田池留吉、アルバートの世界を呼んでいきます。呼んでいけるといっても、呼んでいくようになっていきます。宇宙は待っていることを感じています。宇宙はともにあります。宇宙へ思いを向けるこれからの時間、三次元最終に向けて私達は、その計画の中にあります。宇宙へ思いを向けること、それが田池留吉、アルバートを心で呼べることに繋がっていきます。

宇宙を思える時間をこれからもいただきます。宇宙を呼ぶことは、とても大切なことなんです。

宇宙に思いを向けることが、とても大切なことなんです。

そのことを、今、心に感じます。瞑想をして、私の中にある思いは次元移行です。その瞬間の喜びです。そのために、心の中を意識の世界を整えていくこと、宇宙へ思いを向けていくことが、私は自分のするべきことだと思っています。

これからの二五〇年の間、心を宇宙に向けながら、ともに歩みを進めていけることを感じています。私の道は、だから喜びです。幸せの中にあります。二五〇年という時を経て、私達は、計画通りに次元を超えていきます。次元を超えた世界に、私達の思いが届いています。

この世界の中に、私達は、ただただ喜びを広げていきます。喜び溢れる世界を目指して、より真実の世界を目指していく時間、それが私達の時間です。

心で感じます。心の中に、田池留吉、アルバート、私に伝えてくれる意識達がございませう。宇宙の意識達です。ともに歩いてまいります、そうやって呼びかけてくれる田池留吉、アルバートの意識を心に、しっかりと心に感じながら、宇宙とともに歩いてまいります。

母なる宇宙を目指して歩いていけることは、本当に喜びです。母なる宇宙へ帰ろうとしてきた私達の思い、この思いを必ず実現させていける、このことを今世知りました。肉を持って知りました。肉を持ち、私はこの喜びを感じました。肉を外したあと、この喜びを広げてまいります。これが私の計画です。田池留吉、アルバート、心の中にそう呼べる私の思い語らせていただいています。

八七、一つの肉を持ち、私の意識の世界は喜びです。しっかりと田池留吉のほうに心を向けることを、私はやり続けています。田池留吉の世界へ心を向けること喜びです。田池留吉と呼べること喜びです。田池留吉の世界、すなわち私の世界です。

はい、アルバート、私は、今、その世界に心を向け、私は私自身を思っています。心の中に培ってきたエネルギーとともに、私は私を見えています。しっかりと心を向けています。はい、私の心を語るとき、心の中には喜びが溢れています。

「田池留吉とともに歩めるこれからの時間、アルバートと呼べるこれからの時間。アルバートと一つ。」

そう、私の中には、そのように喜びに湧いています。宇宙へ思いを向け続けていきます。これからの時間、そう、私は宇宙を呼び続けます。私の中で、それは、しっかりとした思いで広がっていきます。

私の肉があってもなくても、心の中に、田池留吉、アルバート、私は、しっかりと呼べることを自分に伝えていきます。

そうです、心の中にはそれしかありません。次元移行を目指している私の世界、その意識の世界が、これからこの宇宙に仕事をしてまいります。

そのように私は伝えました。心に蘇っていく思い、三億六千年、そして、それ以前の思い、すべての意識達とともに田池留吉へ、母なる宇宙へ思いを向けていけること、そのことだけに、私は思いを集中していきます。

二五〇年後に出会える喜びを味わっています。

アルバートに思いを向けると、二五〇年後の私が語り出します。

喜び、喜びの私が語り出します。肉の私は、とても苦しい環境の中にありますが、しかし、心の中の喜び、ああ、今とは比べものにならない大きな喜びで、アルバートと叫びます。ともに、ともに一つと叫びます。

その思い、その波動は、宇宙へ一瞬にして広がっていきます。私達の喜びの輪が、すべての意識達をこの喜びの中へいざなっていくでしょう。

次元移行を目指し、私達は、それからの時間をともに過ごしてまいります。

天変地異の嵐の中を通過してきた意識達、その意識達の変革を、私達は待ち望んできました。

はい、とても、とても大きな喜びの中を、私達は次元を超えてまいります。

私は、アルバートと一つの中に、今にもある喜びを感じています。

塩川香世という意識の世界、田池留吉という意識の世界、ともに一つを感じています。ああ、喜びです。喜びが喜びを生んでいくこれからの時間、私の中は喜びが爆発してまいります。

八八、宇宙に向けて思いを語るとき、幸せを感じます。自由に羽ばたいていく私の心があります。その中には、喜び溢れる私があります。温もりの中に私があります。優しい私がいま

宇宙を語るとき、嬉しいです。異語で私を語るとき、とても嬉しいです。異語を語り、宇宙を思うとき、とても嬉しいです。

田池留吉、アルバートありがとう、その思いが自然に心から湧き起こってきます。

私は幸せです。宇宙を思える私は幸せです。今、この幸せの中にあります。お母さん、何度あなたを呼んでも、私は、こんなに幸せな時を過ごしたことがございませんでした。あなたにこの肉をいただき、私は、今、幸せの時間を過ごさせていただいています。私は、この心の中に溢れる喜びを感じています。嬉しいです。これからの時間、私は、この喜びと幸せを心に広げながら過ごしていけることを心に感じます。

私は、この世界を大きく、大きく広げてまいります。それが二五〇年後の私の来世の間です。来世の私は、心の中に大きな喜びを抱えて生まれてきます。肉の環境は厳しいけれど、その中で、私は、本当の喜びを自分の中に爆発させていくのです。

アルバートとの出会い、その中で、私は、本当の自分の姿を即座に見つめてまいります。

心の中にある喜びが、アルバートを目指して噴き出していきます。宇宙は、私の心の中を大きく広げていきます。宇宙に大きく広く思いを向ける私の来世、ああ、こんな嬉しいことはありません。

私は宇宙。宇宙の中に私はありました。宇宙とともにこれからの時を過ごしていけること、こんな喜びはありません。

「UFO達よ、嬉しいですね。本当に嬉しいですね。私の仲間UFO達、心の中に喜びを溢れさせていってください。あなた方の中には、喜びが、温もりが、安らぎが、本当の幸せがあるんですよ。私は、そのようにあなた方に伝えていきます。母なる宇宙を目指すUFO達、本当に私達とともに歩いてまいりましょう。心の中を喜び、喜び、喜びで見つめてまいりましょう。」

八九、肉体細胞よ。肉体細胞にありがとう。

この肉をありがとう。肉体細胞に支えられて、私は存在しています。今、私は、肉を持っています。肉体細胞の一つ、一つに「ありがとう」を向けています。

本当にありがとう。嬉しいですね。一つ、一つの肉体細胞が喜びを伝えてきます。

はい、ありがとうございます。ああ、お母さん、ありがとう。肉をいただいた喜びを堪能しています。心の中を感じていけることが喜びです。

三億六千年の心の垢、それ以前の心の傷、今、私は、その心の垢や傷を一つの肉を持つて見つめています。

宇宙を思えることが嬉しいのも本当です。宇宙は私にとって喜びです。苦しかった宇宙のあの時間、パワーを誇ってきたけれど、心は暗黒の中に沈み込んでいました。苦しいからパワーを求めてきたその心、今、心に感じています。田池留吉の世界を思えば、このことが出てきます。

そして、私は、この地球上に三億六千年という長い時間、その心そのままずっと過ごしてきました。心の傷、心の垢、積りに積り、私の中にしっかりと残っていました。そのすべての私を抱えて、今、この一つの肉をいただいています。そして、私は今、この肉体細胞とともに、田池留吉の世界に心を向けています。

お母さん、私の心は本当に感謝の思いで爆発寸前です。これからの二五〇年の間、この心をしっかりと見つめていきます。

二五〇年後の肉に繋ぎ、私は、その間に見つめてきた自分の思いを、その肉を通して、宇宙に向けて爆発させてまいります。次元移行には、そのエネルギーが必要です。私は、その道筋を今、心に感じています。

田池留吉と出会い、私の喜びは確かなものになりました。田池留吉の意識の世界、その世界は、私に力強く教えてくれました。

「心を見つめていくことが喜びです。あなたの心の歴史を私とともに見つめていくことが喜びです」。そのように、何度も、何度も伝えていただきました。私は、田池留吉とともに心を見つめてきました。田池留吉の世界に歯向いながらも、自分を見つめてきました。

田池留吉の思いを心に感じながら、だからこそできた作業でした。

すごいエネルギーを培ってきた私の心の中にあつたものは、ただただ真実の世界に帰っていかうとする私の真なる思い、本当の優しさ、本当の喜び、本当の温もりの私でした。

私は、その本当の自分と出会ったのです。今世は、本当に大切な時間でした。肉体細胞に思いを込め、この肉体細胞がある限り、私は、肉体細胞に思いを向け、ともに歩いてまいります。そして、私は、やがては、この肉体細胞にも別れを告げ、この心を二五〇年の間、しっかりと見つめてまいります。

心の中に培ってきたエネルギー、本当にありがとうございます。宇宙に向ける喜びを心に感じている私でございます。

九〇、あなたは、心の幸せを知っていますか。心が広がる喜び、幸せを感じていますか。心の中に田池留吉、アルバートを呼べる幸せ、喜びを感じていますか。

私は、「はい」です。私は本当に幸せです。

異語。

異語を語っているとき、本当に喜びです。喜びいっぱい私を感じます。

異語は喜びです。異語は宇宙、宇宙を感じます。異語を通し宇宙を感じています。本当に嬉しいです。ありがとうございます。異語は喜びで、私の心を広げていきます。宇宙へ心を広げていきます。異語を通して、私は、この喜びのエネルギーを感じます。宇宙へ思いを向けるエネルギー、宇宙を思う喜び、宇宙は、本当に、大きく、大きく放たれています。そ

んな中に私は生かされています。私の喜びは、無限大に広がっていくこれからの時、二五〇年に至る時間です。

二五〇年後を迎え、そして、次元を超えていく意識の世界は、とても表現できない幸せです。田池留吉の世界、心の中に広げてまいります。田池留吉の世界を、どんどんどんどん広げてまいります。たくさんの宇宙を心の中に呼び起こし、そして、その宇宙達に伝えていきます。

「田池留吉の世界を、心に思い起こすことは喜びです。ともに、ともに歩いてまいりますよう。」

心を見つめながら、たくさんの宇宙に思いを向けていきます。宇宙を思い、心に向けていくこと、そのことが喜びです。たくさんの宇宙を心に感じます。

「はい、ありがとうございます。アルバート、ありがとうございます。心の中に、アルバートを呼べる私達は幸せです。」

心を落としてきた、狂わせてきました。田池留吉、アルバートの宇宙を心に呼び起こせること、今、本当に嬉しいです。

狂わせてきたエネルギーの中を、本当に苦しい中を生きてきました。存在してきました。

苦しい、苦しい中に存在してきた私達にとって、田池留吉、アルバートを呼んでみなさいと呼びかけていただけたこと、それが、どれだけの喜び、幸せなのか。本当に安らぎます。苦しい中を生き抜いてきた私達だからこそ、このように語れるのです。」

九一、セミナー会場で、転げ回り暴れ回ってきたあの当時からとても懐かしいです。心の中のエネルギーを思う存分発揮できました。田池留吉に向かって、宇宙に向かって、エネルギーを吐き出してきた私の喜び、幸せは言葉には表すことができません。

あの当時のあの時間、とても貴重な体験でした。とても、大きな喜びとなって、今に至っています。あの当時からいって、今の私があります。エネルギーを感じられた私でした。セミナー会場で、思う存分エネルギーを感じました。はい、自分の出すエネルギー、宇宙へ凄まじいエネルギーを放ってきたブラックパワーを、感じさせていただきました。

喜びとともに感じさせていただきました。懺悔が込み上げてきました。

お母さんに向けて、限りなく広がっていくお母さんの温もり、その広い世界に、何とも言えない安らぎの思いを感じました。

「ああ、ごめんなさい、間違ってきました。私は、必ず、あなたのもとへ帰ります」と、私との約束をしつかりと思い出したあの瞬間でした。

私の中で、あの瞬間は忘れもしません。アルバートの波動を感じたあの衝撃も然ることながら、セミナー会場での闇出し現象は、私にとって、本当に貴重な体験でした。

それがあったからこそ、私は、今、本当の自分の心を感じられます。

温もり、安らぎのある私を感じられます。

とても嬉しいです。凄まじいエネルギーが、私を喜びにいざなってくれていました。凄まじいエネルギーこそ、母のもとへ、母なる宇宙へ帰りたいという切なる思いです。私は、心の底から感じさせていただきました。

田池留吉とともに歩いていく意識、その目覚め、本当に嬉しい目覚めをいただきました。今世の時間、私は、本当に貴重な体験と幸せな体験をさせていただきました。この心を二五〇年後に繋ぐ、その間の私の喜びは、本当に言葉では言い表せられません。母なる宇宙へ帰る思い、宇宙を制覇してきた凄まじいエネルギーこそ、母なる宇宙へ帰る切なる思いでした。その思いを、今世しつかりと感じさせていただいています。お母さん、ありがとうございます。

九二、田池留吉の意識の世界、その宇宙とともに学ばせていただいた時間、空間をありがとう。
田池留吉の世界に心を合わせる、向ける喜びをたくさん宇宙達とともに味あわせていただきます。

私達の世界には、何も要りません。何もありません。異語とともに喜びのエネルギーが噴き出してくる瞬間、もうたまらなく嬉しいです。

宇宙を感じ、宇宙とともにあることを感じ、田池留吉、アルバートの宇宙の中で、本当にともにある喜びを感じています。

私には最高の時間、空間の今です。今がすべてを語っています。田池留吉、アルバート、その世界に生きる喜びと幸せは、とても、とても言葉にできません。肉を持ってその世界の素晴らしさを堪能できる喜び、幸せが、さらに私の中を広げていきます。

これから二五〇年に至る時間を思えば、ただただ嬉しい、嬉しいだけです。
かつて培ってきた大きなブラックのエネルギーが、本当に喜びを、喜びだけを伝えてきます。「一つ」の喜びを伝えてきます。

どうぞ、母の温もりをしっかりと自分の中に確立されて、どうぞ、宇宙を呼んでいって

ください。田池留吉の世界、田池留吉の宇宙を心で感じられる喜びを心で堪能していただく。

その大きくて広くて温かい、どこまでも力強く広がっていく世界から、ご自分を見つけていってください。自己供養の喜びを広げていってください。

九三、私の中のたくさんの宇宙とともに、田池留吉、アルバート、あなたのもとへ帰れることを確信している私の中には、喜びが、幸せが広がっていきます。ああ、喜びです。本当に幸せです。心の中を覗くと、本当に喜び溢れる世界を感じます。

田池留吉、アルバート、出会いをありがとう。心からありがとう。そんなたくさんの宇宙達の喜びを心感じます。

「田池留吉の中において、私達は、苦しみ喘ぎ続けてきました。しかし、今を境にして、このように喜びを伝えていただいています。

『喜びの中にあるあなたですよ』、その思い、そのメッセージを心にしっかりと受け止め

ました。

そのメッセージは私達にとつて、大きな、大きなステップです。ここを境にして、私達は、これから宇宙へ帰る準備を着々と整えていきます。

母なる宇宙を目指して、私達は喜びを大きく広げていく、そんな世界を心に感じています。田池留吉、アルバート、一つの肉をいただいたこと喜びです。この一つの肉を入り口として、私達は、今、今、本当に喜びを感じています。田池留吉の世界に心を向けることを喜びとしています。お母さんの温もりの中に帰れることを信じてくれていた本当の喜びの世界。その素敵な、素敵な、本当に素晴らしい世界を私達に伝えてくれたこと、本当にありがとうございます。

いくら思いを向けても、どのように思いを向けても、私達の苦しみはどうにもできませんでした。

他力の神々に思いを向けた分、私達の心の中に苦しみが沈み込んでいきました。その中で苦しみ喘いできた私達の世界に、『あなたは喜びです。温もりです。お母さんのもとへ帰りましょう』、たったそれだけを伝えていただきました。波動の世界を感じさせていただきました。真実の波動の世界を感じさせていただきました。

ありがとうございます、ありがとうございます。心からありがとうございますを伝えたい。本当にありがとうございます。ありがとうございます。

これから、二五〇年に至る道、ともに歩いてまいります。たくさんの宇宙を心に呼び寄せ、ともに歩いてまいります。」

九四、お母さん、はい、私は今、自分と語っています。私は、宇宙に向けて瞑想をする時間がとても楽しいです。嬉しいです。

心の中に喜びを感じます。お母さん、ありがとうございます。

心の中を見つめたとき、この凄まじいエネルギーが、本当に今、嬉しい、喜びの思いを伝えてきます。

お母さん、私は、異語で自分を語ります。宇宙と対話しています。宇宙と対話し、私達は心と心で通じ合っています。宇宙は私を呼んでいます。

宇宙へ心を向けるとき、私は、本当に嬉しいです。瞑想をする時間は、嬉しいです。目を閉じて自分を思うとき、たくさんの宇宙との語らいができる、それがとても嬉しいです。宇

宙を思うこと喜びです。ありがとうございます。お母さん、ありがとうございます。

母なる宇宙、アルバート、母なる宇宙へ思いを向けてまいります。これより二五〇年に至る時間、母なる宇宙を思い、私は、自分の心をその方向に向けてまいります。田池留吉、アルバート、その宇宙に心を向けること喜びです。宇宙が応えてくれます。私達を、喜びで、喜びの中にいざなってくれること、ありがとうございます。

九五、お父さん、心を向けてみてください。

お母さんの中に生きています。お母さんの中に存在しているんですよ。

はい、心を向けてみてください。お父さん。

異語。

はい、はい、はい、ありがとうございます、心を向けてくれてありがとうございます。

はい、思いを向けてくれてありがとうございます。私に心を向けてくれてありがとうございます。

お父さん、手を合わせて念じてきた心を見つめていってください。

手を合わせ念じる心は冷たいんですよ。冷たい、冷たい思いを流してきたんです。あなたの中には、安らぎが、柔らかな母の温もりがありました。あなたもその中にいるんです。手を合わせ、あなたの外に何を求めてきたのでしょうか。

寂しい心、冷たい心、そう、あなたはとても寂しかった。自分を律して生きてきました。過去からのあなたは、そんな生き方を自分に強いてきました。手を合わせ、自分を律し、自分を冷たい世界に押し込んできた、その心の中を、お母さんの温もりで少しづつ、少しづつ溶かしていきましょう。お父さん、分かりますか。私は、あなたにいつも語りかけています。心の中に安らぎがあるんです。あなたは温もりです。あなたは優しいです。手を合わせ、念じてきたあなたの頑なな心、どうぞ温もりで解きほぐしていってください。

私達とともに、歩みを進めていってください。思いを向けてください。

異語。

はい、温もりが届きます。温もりを感じます。手を合わせている自分の心を見つめてまいります。お母さん、ごめんなさい。はい、お母さんを求めてきた心がありました。寂しい中に私はいました。お母さんを求めてきたけれど、寂しさを私はどうすることもできませんでした。

今、温かな思いの中に語らせていただいています。そうでした。手を合わせ、自分を殺してきたその心の蓋を少し外してまいります。

もつと、もつと、私に教えてください。神とは何ですか。仏とは何ですか。私は誰なんですか。私は神、仏に仕える者として、その世界を、ずっと、ずっと広げていきたかった。人に教えていた時もございます。

大変な世界を私は広めてしまいました。難しい中に私は頭を使って、心を説いてきた時代もありました。ああ、思い出します。はい、あのとき苦しかった。修行をしていた頃を思い出しています。

そうです。私は、修行をしてきました。心を閉ざしたまま、母を捨てたまま、私は修行をして、自分を律してきました。神、仏の世界を心に広げたからです。たくさんの間違いを繰り返してきました。

今は、はい、そのように語らせていただいています。母の温もりを心に少しずつ思い出していきます。

はい、手を合わせ、心の中に念じてきた思いを見つめてまいります。

お母さん、お母さん、お母さん、はい、私は、その心を見つめてまいります。

九六、 田池留吉の宇宙、はい、私は、田池留吉の宇宙を心に感じています。

はい、大きな、大きな、広い、広い世界です。心の中に温もりが広がっていきます。お母さん、ありがとうございます。お母さん、優しい、優しいお母さんのいざないを感じます。

田池留吉の世界、ああ、本当に優しいです。心の中に、はい、とても、とても大きな、大きな喜びが広がっていくのを感じます。

私は、この世界を待っていました。心の中に、田池留吉を呼べること、喜びです。田池留吉、アルバート、その世界を呼べること、喜びです。

はい、心から待っていました。心の中にある思いを、喜びの思いを語ります。私をもっと知っていただくさいと心に広がってきます。田池留吉からのメッセージです。

私の中を、もっと、もっと知っていくのです。心を広げていけるのです。私は広いです。私の世界は広いです。田池留吉の世界を、どうぞ、どうぞ、心で十二分に堪能していただくさい。

今世の時間、喜びで、喜びで過ごしていただくさい。

田池留吉の世界を思えるあなたは喜びです。ともに、ともに歩いていることを確認していけることが喜びです。

二五〇年後は今、今なんです。二五〇年後の出会いから私達は始まります。この喜びの思いを、全宇宙に広げていける喜びを感じます。

宇宙が喜んでいます。田池留吉、ありがとう。田池留吉の世界を感じている宇宙達の喜びを心に感じます。はい、ありがとうございます。心よりありがとう、ありがとうございます。

九七、何も言わなくてもいいです。ただありがとうございますと心から言えることが嬉しいです。ただありがとうございます、本当にありがとうございますと心から言えることは、どれだけ喜び、幸せなのか、感じています。

何かを言ってもらったから、何かをしてもらったから、そういうことでありません。

ただ、今こうして、真実の世界に触れていることが、そのような道筋に自分をいざなっていることが、ただ嬉しい、ただありがとうございますと深々と頭を下げます。形で言えばそうです。しかし、それは形ではありません。心から波動として、ありがとうございます。たと、喜びと感謝の思いを本当に心の底から流す、そうできることがたまらなく幸せです。

私は、自分の思い通りの時間を過ごしています。自分の望み通りの展開が開けています。これからの私を思うとき、だから、過去の私がとても愛しいし、本当にありがとうございますの思いだけです。どんなに今という時を待っていたことか、心に響いてきます。

衣食住に満たされても満たされない心がありました。

衣食住に満たされなくても満たされる心があるというのは、現実的ではないし、説得力

がないかもしれません。肉は愚かです。やはり、衣食住に恵まれているほうが幸せ、喜びを感じるのは当たり前です。しかし、どれだけそういうものに恵まれていても、満たされない心を抱えたままの意識、それでは本当の喜びも幸せも絶対に分からない、今は、はっきりとそう言えます。

満たされない心、満たされない思い、その心、その思いをいっぱい抱えながら、地球人類は、これからの時を、激動の時を経ていきます。

富も権力もすべてが崩壊していくこれからの時、そういうものでは、自分を満たすことは到底不可能だったと、はつきりと思いつくときが来るのです。

九八、お母さん…、お母さん…、お母さん…、私の思いは、母なる宇宙へ向けて、お母さんを呼び続けています。

はい、ありがとうございます。母なる宇宙、心の中に広がっています。

田池留吉、私は、母なる宇宙へ帰ります。

異語。

お母さん、嬉しい…。お母さん、嬉しい…。

異語。

田池留吉、私はあなたの中にあります。田池留吉の世界を思う私は、喜びです。その喜びの思いで、私は、今世、心を向けた教祖を思います。その意識を呼んでみます。

パワーを求めてきた私の心の中に、あの教祖をつかみました。私が心にぐっと入れました。しかし、今、その世界に心を向けた時、本当に小さな、小さな世界を大きな世界だと思ってきました私があります。

はい、とても苦しい世界に、その教祖、その意識は落ちていきます。苦しい中で、苦しみ喘ぎ続けている意識を感じます。

私は呼びかけます。

苦しい、苦しいあなたの思いを見つめていってください。心の中にお母さんと呼べるあなたであってください。お母さんと呼べるあなた、本当にお母さんと呼べるあなたになつていってください。

お母さんを見下げ続けてきたでしょう。お母さんの思いを見下げ続けてきましたね。そんなあなたの心は、今、とても苦しい、苦しい中にあります。冷たい寂しい中にあります。私は、あなたを感じます。はい、その中からあなたは、ご自分を解き放していってください。心の中に田池留吉の世界を呼び起こしていきましょう。あなたの中に、その優しさ、温もりがあるんですよ。今、私は、しっかりとあなたに伝えたいと思います。

まだまだたくさん狂った意識を心の中に呼び寄せています。あなたを師と仰ぎ教祖と仰ぐたくさんの方々の思いを、あなたはまだまだその心にしつかりと詰め込んでいます。はい、その心、とても苦しい中にあります。

はい、あなたとともに地獄に落ちている信者達の思い、その意識の世界、私は、今、心に感じています。

すべての意識達よ、目覚めていきなさい。心の中に優しさ温もりを思い起こしていくのです。

田池留吉、アルバート以外にありません。ただただ温もりと安らぎの世界、それが田池留吉の世界、お母さんの温もりの世界です。その世界に戻っていくこと、そのことだけがあなたを救いゆく手立てです。

私は、今、あなた方に、そのように呼びかけています。心を見つめていきなさい。心を見つめていくんです。しっかりと心を見つめていきなさい。

重く苦しい世界を感じます。ああ、しかし、私の心の中には恐怖も何もありません。ただただ安らぎの思いを伝えるのみです。温もりがあなたですよ。安らぎがあなたですよ。そのように伝えるのみです。

心の中に、私は、田池留吉、アルバートの世界を広げています。その喜びの思いを、ただただ伝えていくのみです。思いを聞き入れてくれるかどうかは、すべてあちらの問題です。私は、ただその喜びを伝えていきたい。本当のことを伝えていきたい。はい、ただただ伝えていきたい、そんな思いが広がっていきます。

九九、田池留吉の目を見ます。

はい、ありがとうございます。田池留吉の目を見つめながら心を語ります。

心の中の温もりを語ります。田池留吉、ありがとうございます。お母さん、ありがとうございます。嬉しいです。あなたの目は、優しさを伝えてくれます。

温もりを伝えてくれました。田池留吉の目は、とても優しくかったです。心を見つめていくことを喜んでくれます。心に向けていくことを喜んでくれます。私の波動をしっかりと心に感じ、あなたの中を語っていくんですよ。あなたのエネルギーを知っていくんですよ。はい、そのように伝えていただきました。

今、私は、田池留吉の目を見つめながら、自分を見つめています。嬉しいです。ともに歩いていけることが喜びです。

目に見え、耳に聞こえる形の世界には、自分を懸けていけるものは存在しなかった、やはりそうだったと自分の中で実証できたから幸せです。

しかし、肉の生活は大切です。だからしない、けじめのない生活をしては、決して真実の世界との出会いなどないと私は思っています。

肉は自分のエネルギーを知っていく大切な器です。肉も肉の生活も大切にしていきたいと思います。

一〇〇、田池留吉を心で感じる。波動で感じる。波動で伝えてくれる優しき、温もり、はい、この心の中に、すうつと染み渡っていきます。これが喜び、幸せ、私は、ずっとこの中にありました。はい、これからも、この中にずっといます。

心を向ければ応えてくれる。優しさと温もりが応えてくれる。田池留吉が応えてくれる。お母さんが応えてくれる。嬉しいです。

たくさんの宇宙達の思いが伝わってきます。田池留吉、アルバートへ心を向けようとしているたくさんの宇宙達の喜びが伝わってきます。

はい、私は、応えます。母なる宇宙へ帰ろう。

たくさんの宇宙達、心の中に応じてくる宇宙達に思いを向けて、母なる宇宙を目指そう、そうやって、私は、伝えていきます。

はい、田池留吉。意識の流れを感じ、ただただ嬉しいのです。田池留吉、アルバート、その流れの中にある私を感じます。宇宙が喜んでいることを感じます。意識の流れの中にある喜びです。

はい、そうです。意識の流れは、私達の待ち望んできたことでした。私達は、田池留吉、アルバートの意識、その中でこのように語らせていただいています。

意識の流れを感じ、嬉しい思いを広げています。意識の流れこそ、私達が待ち望んできたものでした。心の中にある思いを広げてまいります。

心を田池留吉、アルバートに向け、意識の流れの中で、喜びを広げてまいります。

はい、嬉しいのです。はい、あなたのもとへ、そう母なる宇宙へ帰る道筋にあります。田池留吉、アルバート、心より待っていてくれたこの思いを、今、心に感じていきます。

私達の宇宙、明るい宇宙へ帰ってまいります。お母さんの思いとともに、あの宇宙へ帰っていくのです。はい、母なる宇宙、ただただ嬉しい、母なる宇宙を思うとき、はい、ただただ嬉しいのです。

一〇一、日々、淡々と瞑想を続けていくこと、肉ができる最大限の幸せです。

私は、日々、瞑想を続けています。楽しい時間です。

異語で語り合う時間、自分と自分の中で語り合う時間は、私の心の中に宇宙を呼び寄せていきます。だから、とても楽しいです。

田池留吉と思えば宇宙です。今世、田池留吉という人物を通して、私は、田池留吉の世界を感じています。これがどれだけの喜び、幸せなのか、私の心は素直に伝えてきます。

待ち続け、待ち望んできたことが、本当に私の中で現実となっている今、思えばただただ嬉しいです。

宇宙を思いたかった。宇宙を呼びたかった。田池留吉、アルバートの世界は、その波動の世界は、私の心からの思いに十二分に応えてくれます。

日々、淡々と瞑想を続けていくこと、宇宙とともに瞑想を続けていくこと、狂い続け、苦しみ続けてきた宇宙とともに瞑想を続けていくこと、これほどの幸せはありません。

母なる宇宙に帰ることができるのだと知りました。それが私の今世でした。あとは淡々と瞑想をして、自分の心を見つめていく中で、すべては母なる宇宙へ帰る道筋にあることを確認していただけます。それはただただ喜びの道です。宇宙とともにあることを感じていく

時がこれから永遠に続いていきます。

田池留吉、アルバート、本当に出会いをありがとうございます。心からありがとうございます。心からありがとうございます。心からありがとうございます。

一〇二、アルバートに向けて語ります。

田池留吉、ありがとうございます。田池留吉の世界、その宇宙、ありがとうございます、ありがとうございます、ありがとうございます。本当にありがとうございます。私はあなたに思いを向けるとき、ありがとうございますの思いが飛び出てきます。

心の中に凄まじいエネルギーを蓄えてきたけれど、その凄まじいエネルギーが、一斉にあなたに向かつて、ありがとうございますと叫んでいます。

この思いを、私は、心に受け止めています。とても嬉しいです。

田池留吉、アルバートを思い、その宇宙を思うことがとても嬉しいです。私は、自分の宇宙と対話しています。田池留吉、アルバートの宇宙と対話しています。

喜びのエネルギーを放っていける私を感じています。これからの宇宙を思うとき、喜び

が大きく、大きく広がっていきます。

二五〇年後に向けて、私は、自分の中を肅々と着々と進めています。

計画通り、予定通り進めていること、本当に嬉しいのです。

今、私は、自分を感じています。そして、田池留吉、アルバートへ思いを向けています。思いを語っています。どんなにしても、この思い、あなたの中に届けたかった。私達は、一つです。その一つという思いを、しっかりと自分の中に広げていきたかった私です。

今、ようやく、今世、ようやくその思いに出会いました。

嬉しいのです。一つは嫌、私は立派、私は素晴らしい、そんな私を今自分の中で語るとき、喜びが飛び出てくるんです。ああ、田池留吉、アルバート、その思いとっしょに、私は歩みを進めていける、ともに生きていける、ともに存在していける、より一つに、より一つにと重なっていけることが幸せなんです。

嬉しいのです。ありがとうございます。ああ、ありがとうございます。お母さん、ありがとうございます。ありがとうございます。

一〇三、宇宙に思いを向けます。

二五〇年に至る時間、たくさんのUFO達がこの地球に飛来してきます。UFO達の思いを今感じています。

心の中を見つめていくUFO達です。肉があるかないかは関係はありません。意識、エネルギーです。真実の世界に反逆してきた意識。その意識の世界を、今、私達は宇宙とともに見つめています。

UFO、心の中をもっと、もっと語りなさい。

田池留吉、アルバート、その宇宙の中で、UFO達あなた達の思いを、もっと、もっと語りなさい。地球人類に伝えていきましょう。

「ともに歩みを進めていく私達、そう私達は仲間です。地球人類とともに、歩いてまいります。私達UFOの思いを受けていってください。

地球に私達は、様々な天変地異を起こしてまいります。宇宙的規模の天変地異。その思いは、喜びのエネルギーです。ともに帰れることを私達は伝えていきます。

地球人類に伝えていきます。肉を本物とする意識に、私達は衝撃を与えていきます。」

UFO達の思いは、遙かなる宇宙を目指しています。

母なる宇宙を目指しています。田池留吉、アルバートは、その意識達の目覚めを待つていました。

心の中に田池留吉、アルバートの宇宙を思い起こしていきなさい。

地球人類に、どんどんメッセージを送ってきます。心の中をどんどん見つめていくのです。ともに歩いてまいりましょう。心の中に喜びを、温もりを、優しい母の思いを思い出してくださいなさい。

私達UFOのメッセージ。

「私達は、あなた方に危害を与える存在ではありません。心とともに見つめていく仲間。私達は、田池留吉、アルバートのもとに一つ。母なる宇宙を目指し、私達はこれからの時間、地球に飛来します。たくさんの宇宙達の思いを受けていってください。心の中を見つめていくことは、喜びです。ともに帰ってまいりましょう。」

一〇四、今の時間、この時間、ゆったりとした時間、心の中にアルバートを感じられる時間、田池留吉の世界を感じられる時間、幸せです。嬉しいです。心をもっと、もっと見つめてまいります。

田池留吉、アルバート、その世界の無限大、その世界の優しさ、その世界の温もり、心の中に広がっていく喜び、私は、心に向けていくだけです。アルバート、アルバート、アルバート、心に呼び続けてきた私の意識の世界。そうなんです。アルバートを求め続けてきました。田池留吉を求め続けてきました。心の中をもっと、もっと見つめてまいります。私の中は、もっと、もっと広がっていきます。

田池留吉の宇宙、その世界に心を向けられる今世をありがとうございます。嬉しいです。宇宙を呼べる私は嬉しい。ありがとうございます、宇宙へ心を向けられる喜びです。凄まじい宇宙を感じ、喜びを感じています。凄まじい宇宙こそ、私達を待っていてくれました。ありがとうございます、ありがとうございます。嬉しい心を語ることができました。UFO達の思いをもっと、もっと受けてまいります。心を広げて受けていきます。

これからの時間、たくさんのUFO達の飛来を心に感じ、私は喜びをともに語り合いた

と思います。嬉しいです。ありがとうございます。

一〇五、なぜ生まれてきたのか、はつきりと自分に言えて、そして、その自分の思いとともに存在していけばいいと分かったから、私の心は軽いです。

その私の心というのは、肉の心です。

意識の私は、もう言うまでもなく、どんどん学んでいます。意識の世界の私は、今世という時間に大きな変貌を遂げました。そして、それはこれからの時間の中で、さらに色々なことを学び、吸収して、進化していくのでしょうか。もちろん、意識の私とともに肉も学び成長していくと思います。

肉を持っている時間、持っていない時間、そしてこの三次元という空間、それらをふっと思いつながら瞑想を続けます。

今の私にとって、瞑想ができる時間と空間、年相応の体力、気力、そういうものが揃ってればそれで幸せです。

喜びを感じるのも自分、幸せを感じるのも自分、またその反対も自分、それが分かって、

肉がある間は、肉の楽しみも味わいながら時間が過ぎていく、こんな幸せなことはありません。

一〇六、田池留吉の世界との出会いがなければ、今世もまた無味乾燥で殺伐とした人生で終わっていたでしょう。

アルバートとの出会いがあったからこそ、私は蘇ることができました。

肉的に恵まれても、そうでなくても、私の中で吹き荒んできた地獄は全く同じでした。それに、過去の私は、全く異論はありません。

自分の中の地獄を変えずに、そのままにして、幸せを感じられるはずはない、喜びや温もりを感じられるはずはない、こんな本当に単純なことが分かるのに、どれほどの時間を経たことか。

それでも、ようやく、自分の中を変えることがすべてなんだ、そして、それにはこうすればいいんだと、ようやくにして、今世という時間、この一つの肉を通して、本当の自分の声を聞くことができました。

素直に聞くことができました。本当に嬉しいです。

田池留吉の世界、アルバートの世界との出会いによって、私が私に呼びかけてくれます。

「あなたは、肉の中に生きていますではありません。あなたは私の中で生きています。温もりの私の中に生きています。」

一〇七、心が伝わります。私は、不転の思いでこの肉を持ってきました。

はい、何が何でも、私は自分に真実を伝えたかった。真実の自分に目覚めたかった。その思いがふつふつと自分の中から湧き上がってきます。

だからこそ、私は、今、このようにして肉を持っています。

学びに集いました。学びました。田池留吉の意識とともに学んでまいりました。自分の地獄とともに学んでまいりました。

現実の社会は地獄です。地獄の中で、そのエネルギーを感じ、苦しい、苦しいと叫び続け、しかし、なおその中で生き延びようとするその心、過去からの私はそれを必死で止めていました。

もういい、もういいと。

自分を傷つけ、自分を落とし込め、自分をないがしろにすることはもういい。それよりも、肉を持ってきたこの思いを、何としても実現したい。

なぜならば、それを果たすことができなければ、私には何も無いからだ。

今世をおいて他にやり直すことはできない。まさにそれは、不退転の決意です。

ここを外しては生きる道がないと心に固く誓ってきた思い。地獄の中を歩き続けてきたからこそ、この思いを現実ものとしなければならぬ。

そんなひしひしと伝わってくる心の世界です。自分の心の世界から発信されるもの、発信されるメッセージをしっかりと受け止めてきた今世です。はい、もう何にも振り回されることなく、何にも踊らされることなく、自分を見つめ、歩いていくだけです。それが私の望んできた道。遥かなる宇宙へ繋がる喜びの道。

アルバート、心の中に呼ぶアルバート、その宇宙。田池留吉が今世指し示してくれました。田池留吉の世界へ心に向けていくだけです。

一〇八、宇宙よ、語ってみてください。はい、私の中の宇宙よ、語ってみてください。

私達の思いを聞いてくれてありがとうございます。心に向けてくれてありがとうございます。とても嬉しいエネルギーの宇宙です。そう、私達はあなたを通して、私達宇宙を語っています。とても嬉しいです。心の中の田池留吉、アルバートを呼んでみなさいと、心に伝わってきます。凄まじいエネルギーをしつかりと心に受け止めてくれる優しい温もり、そんな温もりの中に私達はいます。

私達は、その温もりの中で安心して、心を語ることができます。とても嬉しいです。私達のこのエネルギーを受けてくれてありがとうございます。

私達の思いは、とても凄まじいです。なかなか、人間の心の中に、この思いを、私達を受けてくれません。ただ恐怖の思いを膨らませていくんです。

私達は恐怖を大きくする存在ではないんです。心を狂わせていく存在ではないんです。

心を狂わせていくのは、みんなその人達にその思いがあるからです。それをすべて私達のせいにするんです。そうではありません。私達は、心に向けてほしいと伝えているんです。そして、私達に本当の安らぎと温もりを伝えてくださいと伝えているんです。

私達は今、心を語っています。

このように心を語れることが喜びです。田池留吉、アルバート、その中で私達を受け入れてくれることが喜びです。

はい、嬉しいです。母の思いに帰りなさい。母なる宇宙をあなた達は目指しているでしょう。その中で、自分達の思いをしつかりと受け止めていくんですよ。そうやって、伝えてもらえることがただ嬉しいんです。

ただ私達を受け入れてくださいと私達は伝えていきます。

この心の中には何もありません。凄まじいエネルギーかもしれません。

ああ、しかし、それはすべてあなた方の問題なんです。私達の問題ではありません。私達もあなた方もいっしょなんです。

みんな母に背いてきたエネルギー、狂いに狂ってきたエネルギー、その間違ったエネルギーを今、ともに、ともに見つめていこうと、こんな嬉しい計画を立てているんです。

そんな私達に呼びかけてくれる意識がありました。

田池留吉、アルバートを信じている意識、その意識が私達に伝えてくれているんです。温もりの世界を感じていくことが喜びです。私達は温もりでした。喜びでした。そのよ

うに伝えてくれることが喜びです。

はい、私達を嫌わないうでください。恐怖の思いを広げていかないでください。

私達はあなた方といっしょです。あなた方と歩いていく意識、そうやって私達は伝えて
いるのに、私達は拒絶されるんです。

私達を拒絶するということは、あなた方の心が拒絶するということは、とても、とても
苦しい。それをあなた方は、自分に伝えていただけなんです。決して私達のせいではありま
せん。私達はともに帰りたい意識、ともに苦しかった意識、そんな私達が、あなた方に危害
を加えるはずがありません。

私達はとても、とても嬉しいです。

今、今、心を語れることが嬉しいです。

田池留吉、アルバートに心を向けていくことが喜びと伝えてくれています。ありがとう
ございます。

私の中の宇宙、このように語っています。

嬉しい、嬉しいと語ってくるんです。心を、はい、もっと、もっと広げてまいります。嬉しい、

嬉しい思いをもっと、もっと受けていきます。

凄まじいエネルギーは喜びです。私は喜びです。思いを向けることは喜びです。

私の心の世界はとても広い。田池留吉の世界、田池留吉の宇宙、その思いとともに、ともに、この凄まじい宇宙とともに感じられることが喜びです。

一〇九、今の肉を終えて、来世の肉を持つまでの間、私はどのように存在しているのか。おそらくこのように存在しているだろうと感じてきたことが、やはりそうだ、そうだと自分の中で実証しています。

意識はエネルギー、エネルギーは仕事をします。

私は、その間、宇宙とともに仕事をしています。さ迷い続け、あるいは固まったままの状態ではないことを確認しています。

そして、そのエネルギーが再び形を持つてきます。

出会いから一瞬にして肉を突き破ります。

その瞬間から、私はUFO達とともに喜びを発信していくのだと感じています。

次元移行は、もうすでに始まっている意識の流れの中の計画です。

だから、三次元に田池留吉の意識が降り立ったのです。

それに呼応する流れは、もちろん、もう私の中で始まっているし、これから二五〇年の間にどんどん進んでいく計画です。そうして、いよいよ二五〇年後を迎えるのです。その大きな力となるのが、やはりUFO達の存在、それを私の中で確認しています。

一一〇、アマテラスの崩壊を日本の国に見ながら、やがて、この肉を置いていくことが喜びです。日本の各地で、各方面で、アマテラスが崩壊していく様子を、私はこの目と耳とそして、何よりも意識で確認しながら、今世を終えていくと思います。

また、この肉の時間、これからの最大の山場、田池留吉の肉との別れを経て、私は、さらに自分を飛躍させていくでしょう。

本当に文字通り、私と私の学び、そして田池留吉、アルバートその世界、その宇宙、私達宇宙とともに学んでいくことになるでしょう。

私の大きな計画です。肉とは何か、意識とは何か、しっかりと自分の心とともに確認し

ながら、一步、さらに一步を歩んでいく計画を用意しています。

瞑想、正しい瞑想をする中で、その計画はほぼ達成でき、そして、私のこれからの時間が続いていくのだと思います。

肉を持たせていただいたことに、深く感謝しています。肉あればこそ、次元移行という意識の流れを、宇宙に発信していけたのです。宇宙とともに歩いていくこれからの時間、確実に変わっていくことを感じ、ただただ嬉しいです。

一一一、自分を見限り見捨ててきた自分の思いが、田池留吉の世界に向かって飛び出てくるのを、みんなそれぞれが自分の中で確認しなければなりません。

それが、あなた自身がこの学びに触れた理由です。

田池留吉の世界に歯向い徹底抗戦してきたエネルギー、それが自分達の培ってきたエネルギーです。

そのエネルギーは、現象となつて目の前に示されていきます。

学びに触れていない人達、つまり心を見ることを知らない人達は、それが全く分かりま

せん。

しかし、学びに触れた人達は、一応、心を見るということを知りました。実践しているかどうかは別として、自分の中に作ってきた田池留吉の世界に徹底抗戦するエネルギーを、心を見るということを通して、感じ知っていききたい、そのために、今世、学びに集ってきたのです。

そのエネルギーを自分の中で包んでいく作業を重ねていかない限り、真実の世界、本当の自分の思いとは出会うことはない、これは私の中で実証されました。

従って、今世、学びに触れたかもしれないけれど、自分を見限り見捨ててきた自分の思いを、しっかりと自分の中で確認することができなければ、今世のチャンスを自ら逸する結果となってしまいます。

田池留吉、田池先生と慕っても、それは、所詮肉です。

自分が肉を持ってきた意味を、本当に大切にしていきましょう。

自分の変革は、自分の意識の世界の変革です。

肉で幸せならばそれでいいと言う人ならば、それはそれでいいです。

しかし、私は、自らの意識の変革をぜひ遂行していただきたい、心からそう思います。

一二、宇宙に思いを向け、瞑想を続けています。

はい、帰るところが分からなくてさ迷い続けているUFO達に思いを向けています。ともに、ともに帰りましょう、そうやって、私は、これからの時間も、宇宙に呼びかけ続けていきます。

今世、一つの肉を持たせていただいて、私はようやく、宇宙に向けて呼びかけることができます。

さ迷い続け、苦しみ喘いできたUFO達に、ともに帰ろうと思いを向けることは喜びです。一つの肉をいただいたからこそ、この思いを宇宙に向けて発信できるのです。ともに、ともに帰ろうとUFO達に伝えていきたい、伝えていきたい、その思いが心に広がってきます。これからの時間、私は、二五〇年に向けて、この思いを広げていくんです。それが私の仕事となります。

もちろん、UFO達は自分達の心を見つめていきます。自分達のエネルギーを見つめていきます。心の中に、田池留吉、アルバートを思える喜びを発信してきます。それが宇宙的規模の天変地異となつていきます。

この地球上に、その喜びのエネルギーが渦巻いていくのです。

私は、そのことを心で感じています。

ともに、ともに、UFO達とともに、次元を超えていきます。私の中では、もうすでに次元移行が始まっています。この私の思いをUFO達に伝えていきます。私の喜びです。

喜びは大きくなっていきます。UFO達に思いを伝えること、UFO達から思いが返ってくる、そして、私はまたUFO達に伝えていく、この仕事がこれからの時間続いていくんです。

肉を持っている、持っていないは関係がありません。ただただ宇宙に思いを発するとき、私の心の中からエネルギーが流れます。

UFO達に思いを向けていきます。ああ、私は、UFO達とともにあります。私は、UFO達を引き連れて、あの世界に帰ってまいります。田池留吉、アルバート、母なる宇宙へ帰っていく意識、一つの肉をいただき、そのことを、この心の中に確信できたこと、喜びです。

一三三、私の中の宇宙に思いを向け、語ります。

ありがとうございます。ありがとうございます。田池留吉、アルバート。お母さんの反省を続けてやってきてよかったです。はい、母に使ってきた心を、しっかりと見つめてきました。この心の中で、田池留吉に対する思いを見つめてきた私には、もう喜びしかありません。

どれだけすごいエネルギーを感じようとも、私は喜びです。喜びで、喜びでこのエネルギーを包んでいける私が存在していることを確信しています。田池留吉、アルバートとともに歩めるこれからの時、私の中には喜びしかありません。二五〇年に至る時間、そして、二五〇年後の出会い、それ以降、私の喜びを大きくしていくUFO達の思い、そして天変地異、私は、そのエネルギーをこの心の中から流していきます。

ありがとうございます。意識の流れの中で、このように肉を持たせていただきました。本当に今という時を大切にしていきましょうと、その呼びかけをずっと宇宙に向けてしています。これからの激動の時間を経て私達が喜びをともに分かち合える仲間、UFO達に思いを向けることが喜びです。

私の中で、アマテラスはもちろん語ります。

宇宙を制覇してきたアマテラスの意識は、とても喜んでいきます。

そう遠くない時に、アマテラスの崩壊を見ていきます。意識の流れの中で、アマテラスは崩れ去っていきます。アマテラスという帝国は崩れ去っていきます。その崩れ去ることが喜びです。

しかし、アマテラスも必死です。ともに帰ろうと呼びかけてくれるまで、それぞれの中で必死に訴えてきます。優しい、優しい思いで母の思いで、その温もりで、アマテラスの心を解きほぐしていってください。優しく、優しく包んでいってください。それが、これから宇宙を思う瞑想の中で、皆さんが感じていく道筋です。

アマテラスとともに沈んでいくのか、それともアマテラスとともに浮上させていくのか、今世、日本の国に肉を持った意識の分かれ道です。そのチャンスを自ら作りました。今世、日本の国に転生してきた理由です。このことは、田池留吉、アルバート、その宇宙に心を向け、その宇宙を思う瞑想を続けていけば心に明確に響いてきます。

宇宙はこれから二五〇年にかけて大きく変わってまいります。私は、そのエネルギーを心から発してまいります。

一一四、基本は喜びです。

どんなに心を見て反省をしても、瞑想をしても、喜びが基本でないものは暗いです。自分のエネルギーを感じていくことは、喜びに繋がっていきます。

凄まじいエネルギーであればあるほど、喜びに繋がっていきます。

私は、それをセミナー会場で実証済みです。当時の闇出し現象は、それは、それは大きな愛の中の学びでした。

それを経てきた人達は、もうそれだけで今世、生まれてきた甲斐があったと思います。

それほど、あの時間と空間は計り知れない貴重なものでした。

それは、自分の心が本当に敏感になってくれば分かってきます。特に宇宙に向ける瞑想を続けていき、宇宙というものを感じてくれば、あの当時を体験した人であれば、本当にそうだとやってくるでしょう。

当時は、田池留吉の肉に体力がありました。私達のエネルギーを、その肉も互角に受け止めてくれていたことを振り返り、私は、本当にありがたさを感じています。

基本は喜び、それは、自分の中の凄まじいエネルギーを本当に心で知っていく過程を経

なければ分からないことです。

まずは凄まじいエネルギーを確認すること、それがこの学びの第一歩です。地獄の奥底の底から這い上がってきた意識、その自覚が喜びの自分を目覚めさせるのです。

一一五、皆さんは、孤高という言葉を知っていますか。

私が思う孤高という世界は、もちろん、辞書で説明されているものとは違います。

アルバートの世界、真実の世界、温もりの世界、遥かなる宇宙は、究極孤高の喜びだと、私は、今思っています。

世俗を離れて云々と解釈されている孤高の世界は、所詮は肉の世界のことです。ちっぽけな狭い世界のことです。そんなところに、真の喜びも気高さもありません。

アルバートの世界、真実の波動の世界、そして宇宙を心に広げてくれば、真の孤高の世界の喜びが本当に心で感じていけるのではないのでしょうか。

そして、それはよりいっそう、真実の世界に近づいていくということではないのでしょうか。次元を超えて、より真実の世界を目指していく意識の流れは永遠に続いていきます。何

かそういうことに思いを馳せるとき、嬉しいとかそういうことよりも、意識の世界つてすごいなあという感想を抱かざるを得ません。

一一六、自分を救っていくのは自分、何度も何度も聞いてきたはずです。

自分を苦しめているのは、周りの人間ではありません。周りの出来事ではありません。自分の心が苦しいと思うならば、それは全部自分の中にあります。このことも、何度も、何度も聞いてきたはずです。

従って、何年も学んでいけば知識など山ほどあるのです。

ただ、それを素直に受け入れていないだけです。

それが他力の心、自分を知らない心です。

私達は、地獄の底の底の奥底に沈んできた、いいえ、沈み込んできた意識なのです。その自覚をどうぞ、持つてください。

生半可な思いで、田池留吉のほうに心向けられるわけはありません。

そのへんのところは、瞑想を重ねていけば、自分の心で分かります。

他力のエネルギーを野放しにして、何とかしてください、私にも分かるようにしてくださいと言っているのは、あまりにも身勝手な言い分です。

それすらも分からなくなってしまう状態の人達が、まだまだ学びの中にもいるのではないのでしょうか。

本当にもつたない話です。せっかく、今世絶好のチャンスを自らに用意しながら、それを見ずみす放棄してしまうなんて、自分に詫びても、詫びても詫びきれないほどのものではないのでしょうか。

自分に真摯に生きる、自分に優しく生きる、そんな人間に生まれ変わっていきましょう。

一一七、みんな、あらゆるブラックの要素は抱え持っています。条件を満たせば、いつでも自分の中から飛び出てきます。

理性、知性などで抑えていても、爆発して飛び出してくる時期には飛び出てきます。

自分の中から凄まじいエネルギーが飛び出してくる条件が一つ、二つと揃ってくると、本当に自分の中の温もり、優しさを知らない人達は、そのエネルギーに振り回されていく結果

となつていきます。

ただ苦しみと辛さだけを訴え続けます。自分に冷たい自分だと全く分からないから、そういう状態になります。

苦しみ喘いでいるのは自分、他ならない自分なのに、その苦しみ喘いでいる自分をどうすることもできない、これほど情けなく哀しいことはありません。

その点、今世、この学びに繋がって、心を見ることを伝えていただいた私達は幸せです。自分が自分を受け入れていくことができる、そうストレートに伝えていただきました。

自分の中に溢れるほどの温もりと優しさがある、それがあなた自身ですよ、これほどのメッセージはありません。そのメッセージを自分の心で聞くことができる、そんな自分をはつきりと感じられる、こんな幸せはありません。

情けなくて哀しい思いの中に沈んでいく時間と、幸せと喜びを満喫していく時間、どちらの時間を享受するかはすべて自分次第、意識の世界は、本当にストレートでシンプルです。

一一八、心を見る、真摯に見る、本当に自分を地獄の奥底から救い出したいのなら、このこと

を、何としても、自分の中で実践して行ってください。

みんな狂い続けてきたんです。しかし、学びを知らない人達は、その自覚が全くありません。悲惨なむごい考えられない事件が起こって、何で、何でというけれど、人間が培ってきた他力のエネルギーの世界のすごさなど、到底解明できません。

みんなすごい殺戮のエネルギーを心に抱え持っています。爆弾を心に何重にも巻きつけているのです。自爆テロは、私達の心そのものです。

今、学びを知らない人達と言いましたが、実は何年も学んでいても、いまだにまだそういう人達と同じ状態の人達が現実にあります。

もっと自分を真摯に見つめて行ってください。

自分のすべてを懸けて生まれてきた自分の心に、もっと真摯に向き合っていくてってください。田池留吉をなめたらいいけません。学びをなめたらいいけません。そして、自分をなめたらいけないのです。

狂ったまま、地獄の奥底に沈んだまま、それでいいのならそれはすべてそれぞれの選択です。

地獄の奥底から這い上がってくる、そして、自分の心で本当の愛を知っていく、そんな

生半可な道ではないことを、今一度感じていってください。

一一九、私は、ふっとこれから二五〇年に至る時を思うにつけ、ただ嬉しさが込み上げてきます。これからの時間の中で出会っていく意識達、そのほうに思いを向けるとき、本当に嬉しいです。これからどんどん意識の流れに呼应してくる意識達の存在です。

今この地球上のどこかで肉を持っている意識達、またこれからの転生を待っている意識達、あるいは私達のような肉を持たずに呼应してくる意識達、意識の流れに心で触れ、ともに歩みを進めていける喜びを分かち合えるこれからの時間です。

ただ一つの道、この一本の道を真っ直ぐに見つめ、歩き続けることが私の喜びです。喜びです。田池留吉、アルバート、母なる宇宙へ向けて、私の思いは真っ直ぐに続いています。今世の肉の時間、そして来世の肉の時間、その間の時間、私の思いは変わらずに、田池留吉、アルバートを呼び続けます。

田池留吉、アルバートとともに歩み続けることを確認している私の中です。

ただただ真っ直ぐに前を向き、まっ直ぐに歩いていくことのみ、それを私は私に伝えています。

「それがあなたの喜びです」。私はこの喜びとともに歩み続けます。

田池留吉、今世の出会いをありがとうございます。心を語らせていただいています。凄まじいエネルギーを培ってきた心、私は、田池留吉に向けて凄まじいエネルギーを出してきました。すべてはこの真っ直ぐの道を、自分の中で確立したかったからです。

次元移行へ向けて、私の思いは真っ直ぐに伸びています。私の中の宇宙は、次元移行を見つめています。もちろん、すでにそれは私の中で始まっています。

これからも私は、宇宙に向けて瞑想を続け、宇宙にある意識達、その意識達に思いを向けてまいります。瞑想を続け宇宙を思うこと、これが私の仕事です。私には、この思いがしつかりとあります。

今世の肉の時間、私のこの肉にとって必要なものはすべて整っています。肉のことはもう何も憂いがありません。

ただこの道を真っ直ぐに歩いていきなさい、私の思いがすべてを整えていきます。

過去からの私は、この道を真っ直ぐに歩いていくためにありました。今世は、この道を自分のもとで確立していくことが私の大きな仕事でした。これからの肉の時間、この道を一歩一歩歩んでいくだけです。

私の肉に良い意味でも悪い意味でも関わってくる人達、その中に私は沈んでいきません。ただ自分に伝えたメッセージに忠実に、私は私の道を歩いていくだけです。

宇宙を呼んでいく私の喜び、宇宙とともに歩める私の喜び、この喜びの中で私は私の仕事をしていきます。宇宙が待っているからです。宇宙とともに喜びを分かち合える、そんな時間がもう間近に迫っています。

一二〇、意識の流れや宇宙、そして次元移行などというものは、耳で聞いて頭で理解できるわけはありません。

そうかと言って、いい加減な夢物語的な事柄でもありません。

確かにそれらは存在するのです。

必ずこうなってきましたということは、私自身の心で感じています。その感じ響いてくる

ものを私はそうだと確信しているだけです。

その確信が、言葉という形にしてみれば、意識の流れ、宇宙、次元移行等々ということです。宇宙を思う、宇宙を思い宇宙と語る、宇宙とともに存在している、すべて私の中では現実のものです。

そこから様々な思いが伝わってきますが、基本は喜びなんです。私の基本は喜びです。喜びをベースにして、宇宙を思い、宇宙と語っているから、私にとって、瞑想をする時間は、とても大切な時間であり、楽しみの時間でもあるのです。自分の作ってきた宇宙と出会い、その宇宙に、今世、心に蘇らせた本当の優しさと温もりを伝えていく、この作業こそ、私が今肉を持ってできる喜びなんです。この肉でしかしてやれないことを、私は自分にできる、これほどの喜びはありません。

そして、それが肉を持たずともできるならば、これまたこんな喜びはないではないですか。自分の世界を変えていくのは、自分にしかできません。耳で聞いて頭で理解できても、実践が伴っていないければ、苦しい自分の世界はそのままです。

それを、何とか、何とかというのは、結局は何ともならないということを、それぞれがそれぞれの心を通して学ぶべきものです。それを学ぶために、今世、学びに集ってきたので

はないでしょうか。

一一一、自由に何にも縛られずに、この身を置ける時間と空間、幸せだと思えます。自分に自分が愛されてきたと知りました。

あなたの喜び、幸せはこうですよと自分に伝えてくれた、そんな巡り会いがありました。自分に目覚めることが、すべてでした。自分に目覚めるために、これまでがあつたし、これからもある、私の中で力強くそう伝わってくる私の思いに、ただ幸せだと思えました。

私は肉でも幸せです。意識の世界の私は言うまでもなく幸せです。

本当の肉の幸せと喜びは、意識のそれが反映するのだということも、今世知りました。過去の私が、どんなに肉で幸せ、喜びであっても、それは本当の肉の幸せ、喜びではなかったのです。たった一つの肉をとらえ、その肉の幸せと喜びを追い求めてきて、ようやく手に入れたと思ってきたその肉の幸せ、喜び。しかし、肉の次元でのその幸せ、喜びすらも、実は本当の肉の幸せ、喜びではなかったことを知りました。

今世、真実の波動というものに自分の意識が触れ、その世界に反応していったことは、本

当に大きな出来事でした。まさに今世を境にしてという言葉通り、本当に意識の世界の大転換期を迎えられることが、ただただ喜びです。意識の流れの中で、このように肉を持たせていただいたことに、ただただ感謝です。さらに宇宙に向けて瞑想をしてみたいです。

一二三、ともに汗し、涙し、必死に歩いていく、その決意がなければ、自分の心の世界、意識の世界を転回していくことは容易なことではありません。

過去からずっとともにあった自分とともに、汗し涙して、そして、必死になって心を見つめていこうとするんです。そうしなければ、心の中、意識の世界、そう容易くは変わりません。

何度も、何度も転生を繰り返して、本当のことが知りたいとどれだけ苦しみ喘いできたとか。全く何も分らぬまま、地獄の奥底に沈んだままの状態、私は、今世、肉をいただきました。

その地獄の奥底から這い上がってきた自分が、セミナー会場で田池留吉の意識とともに、自分のエネルギーを見させていただく過程の中で、本当に心の中に誓いを立ててきたことを

感じてきました。

ようやくたどり着いた世界です。ようやく自分の中に真実を告げることができた瞬間でした。それは、嬉しいという思いを遥かに越えたものでした。

私は、自分に正直です。自分にとても優しいです。ともに汗し涙して、必死に自分を見つめてきた自分というものがとても愛しいです。

そんな私の中から流れるエネルギー、真実を求めていくエネルギーの強さ、すごさ、誰にも引けは取りません。

だからこそ、今このような状態で、私はこれからの自分を語ることができます。

宇宙に向けて瞑想を続けていく喜びを感じ、これこそが私の待ち望んできたことだったと感じていきます。この喜びはもう何にも優るものはございません。

田池留吉、アルバート、たくさんのエネルギーを心に秘め、あなたの世界へ心向けられる喜びを感じています。宇宙とともに喜んでくれています。思えば、母なる宇宙です。その宇宙は私にはもう本当に現実のものとなっています。たくさんの宇宙達に呼びかけ続けていくこれからの時間です。私は、次元移行の中で喜びを満喫していくことでしよう。

一三三、私の中にたくさん宇宙達のエネルギーを感じます。

私は、異語で応えます。宇宙達に思いを向けています。とても喜びです。嬉しいです。宇宙を呼べるのが喜びです。

心の中に田池留吉、アルバート、そして母なる宇宙、ともにともに呼べるのが喜びなんです。ともに、ともに変わっていきます。私の中の宇宙が変わっていきます。これこそが私が待ち望んできたことでした。今世の肉をいただき、私の中の宇宙を呼び続けています。肉を持ち、このように宇宙に思いを向け続けることをしています。

学びは実践あるのみです。田池留吉、アルバートを呼び続ける喜びがあるのみです。次元移行へ向けてさらなる自己確立を目指してまいります。これからの時間、私の中は大きく変わってまいります。さらなる自己確立です。そうです。私は私の中をもっと、もっと見てまいります。自己確立へ向けて、喜び、喜び溢れる私をもっと見つめてまいります。

心の中に田池留吉、アルバートを呼び続ける私の喜び、ああ、お母さん、ありがとうございます。母なる宇宙へこれからも思いを向けてまいります。私の中には、母なる宇宙へ思いを向けていく喜び、それしかございません。次元移行へ向けて、自己確立へ向けて、私の

中は喜びが溢れ続けていきます。

一二四、瞑想をする時間は、本当に大切です。瞑想をする時間を持つということが大切なんです。人生とは何か、なぜ自分は生まれてきたのか、今という時が何のためにあるのか、真摯に、真面目過ぎるほど真面目に向かい合う思いがなければ、やはり、肉の流れに流れてしまうでしょう。

適当に人生を楽しんで、苦しみや厄介なことにも適当に対処して、人生はなるようにしかならないなんて嘯うそぶいて、濁流とともに流れていく、それが世の中一般です。

もつとも、学んでいるようでも学んでいない人も数多くいます。

それほど、自分の中の流れを変えていくのは難しいということでしょう。

私は自分を大切にしています。肉の自分もさることながら、意識の世界は、それは、それは大切にしています。

自分の中から納得がいく答えが出てくるまで、自分に問いかけ続けてきました。自分の中にある本当の自分の思いを確認し、確信に至ってからは、私はどのように存在していくべ

きか、すでに答えを得ています。

なるようにしかならないのは肉の人生です。

意識の世界は、すべてが緻密に計画されていました。本当の自分と出会うまで、その人の意識の世界は、ただ間違いを伝え続けてきます。しかし、自分の中が目覚めてこなければ、それを心で知ることはありません。

間違いを伝えてくるのは自分、自分が自分に送るメッセージだと、心で感じられないからです。

また、この学びについて、どんなに何を伝えてもらっても、つまり外から情報をどんなに入れても、自分の心、意識の世界が納得、つまり目覚めてこなければ、残念ながら自分の基盤を変えることはできません。基盤を変えずに、田池留吉の世界を心で本当に感じていくことはできません。

もちろん、目覚めを起こすのは自分です。基盤を変えていくのは自分です。

瞑想をしていけば、そう感じていくと思います。

一二五、目を閉じて瞑想をすれば、もちろん喜びの世界が広がっていきます。私の中の宇宙の喜びを感じ、ただ今があることが嬉しい、そしてともに歩んでいくこれからを感じ、また嬉しいということですよ。

遙かなる私の中の宇宙に思いを向けることができる時間です。

そして、目を開けても私は幸せです。意地悪を言われたりされたり、辛くあたる人もなければ何もありません。

ブツブツ言ったり、ジメジメしていたり、ネットリの波動をぶつけてくる人もいません。物質的にも恵まれています。身体がヘトヘトになるほど忙しくもなければ、時間を持て余しているわけでもありません。すべてにおいて整っています。

このように肉的事は、私と同様、いいえ、それ以上に恵まれ整っている人はあると思います。

もし、あなたがそうであるなら、どうぞ、その肉的に整っている状態の今こそ、本当に自分に与えた絶好のチャンスだと思ってください。

もちろん、苦しい中において、自分の心を見て、ピンチをチャンスに変えていくことは、言うまでもなく学びの本筋ですが、それもそうできるのは、肉的に幸せ、喜びのときにこそ、

自分の心を見る、瞑想をしつかりとしていくといったことを、淡々と重ねているからです。付焼刃的なことでは、ピンチをチャンスに本当に転換することはできません。他力的に求めていく心があるからです。

苦しいから自分の心を見る、瞑想をする、それは違います。

嬉しいから自分の心を見て、瞑想をしていけば、どんどん自分が分かってくるんです。そしてそれが喜びに幸せに繋がっていきます。苦しさが基本にある学び方と、喜びが基本にしつかりとある学び方では、その結果は歴然としています。

肉的に何も無い時こそが、自分を見つめられるのです。ゆったりとした静かな時間の中で、存分に瞑想を楽しんでいきましょう。お母さんを思い、田池留吉を思い、宇宙を思っていけばいいのです。

喜びが自分の基本だよ、その信をしつかりと育てていくには、肉的に整っている状態であることも、大きなポイントです。

一二六、宇宙を心で呼ぶために、私は今世の肉を持ってきたことを、心で感じます。そのため

に、今という時がありました。

私の思いが肉にも届き、そして、肉は私の思いに従って、本当にそのエネルギーを傾けるべき方向を知りました。

私の思いが、遥かなる真実を目指し、そしてその方向に向かって突き進んでいく様を、喜びで見つめています。

間違いなく意識の流れが遂行していく様を、瞑想をしながら感じていきます。

だから、瞑想が楽しいです。瞑想は喜びです。心に伝わってくる思いが、本当に嬉しいです。一つの肉を持って、今その世界を感じていけること、喜びです。

あとは、今、この肉があるのだから、この肉でできる範囲のことを淡々とやっていけば、肉の生活など自然に整っていきます。

それよりも大切なことは、肉を通して、宇宙を呼び、宇宙に心向け、思いを伝え合うことです。

宇宙、本当に待っていてくれました。意識の世界を本当に通い合わせることができ、ることを待ってくれていました。

一二七、一つの肉を持っている今です。私は、この肉を最大限に活用してまいります。私の中のエネルギー、凄まじいエネルギーはすべて、田池留吉、アルバートの世界を知るためにあります。凄まじいエネルギーは喜びです。私は、その喜びのエネルギーをこの肉を通して、語っています。はい、私は嬉しいのです。田池留吉、アルバートに心を向けるとき、本当に嬉しいです。この肉を活用していけることがとても嬉しいのです。

心を真つ直ぐに、田池留吉、アルバート、母なる宇宙に向けます。

私の中が語り出します。凄まじいエネルギーが語り出します。私の中は喜び。凄まじいエネルギーは喜び、喜び、喜びを感じています。

はい、母なる宇宙へ思いを向ける私があります。母なる宇宙、私の中にしっかりと広げていけるこれからの時間、私はとても嬉しいのです。

二五〇年、次元移行、私の中に現実として広がっているその意識の流れ。その流れを感じるたびに、私は喜びを溢れさせてきます。この肉は大したことはありません。しかし、肉を持っているには、持っている意味があります。肉はとても大切です。

たくさんのエネルギー、たくさんの宇宙をこの一つの肉を入り口にして私は感じていま

す。凄まじいエネルギーを心に受け止めていけるこの肉がどうしても必要でした。

今世の肉、その肉を、今、とても嬉しく思います。そして、私はこれからもこの肉を活用し時間を過ごし、いずれこの肉を離していきます。そして、私はますます田池留吉、アルバートのほうに心に向けていきます。

次元移行は、私達宇宙にとって、大切な出来事です。この三次元を経てきた私達宇宙にとって、さらなる進化を目指していく時が、もう目の前に迫っています。

今世の肉には今世するべき仕事があり、来世の肉には来世するべきことがあります。そのため肉を持つてくるということでした。ようやく、本来の転生というものが、心に感じられる今日この頃です。

一二八、ゆったりと伸び伸びと心を広げていく瞑想をする時間、何にも代えられない喜びです。肉でもすべてにおいて恵まれている状態であれば、もうあとは瞑想、瞑想、瞑想あるのみです。

瞑想、自分の意識の世界を感じていく、自分を感じていく、ただただ嬉しいです。

私は、瞑想で感じられる世界に生きています。この世界にある私が私です。はつきりと知った今でした。だから今をありがとう。今という素晴らしい時間と空間を用意してくれた自分にありがとうがありません。

喜びを蘇らせていくのも自分、苦しみに沈んだままであるのも自分、何とも分かりやすいものでした。

濁流の中においても、ふうっと自分の世界に戻っていけるなんて、本当に幸せです。濁流に流れていても流されていない、自己確立の喜びと幸せを感じています。

瞑想をして、心に向けられる、心を合やすことができる、ただそれだけ。それだけでこんなに幸せを感じられることが、本当にありがたいです。

一一九、自分に誠実に存在する喜びと幸せを感じています。

温もりに徹底抗戦してきた自分が教えてくれました。私は温もりだと教えてくれました。このことは私の中で、決して揺らがない事実です。自分に徹底的に歯向ってきた自分が教えてくれたのです。すごいと思いました。

たった一言、「待っています」でした。自分が自分に伝えたメッセージに、ああ、私は本当に愚かだったことを知りました。この一言の重みが、私を本当に変えていったのだと思います。自分を粗末に扱ってきた愚かさを感じました。

今、私の意識の世界が、間違いなく正しい軌道上に安定した状態にあるのは、本当に愚かだった自分との出会いがあつたからです。

学びとの出会い、田池留吉との出会い、それが私の今世のすべてでした。

それを存分に享受していくために、私は、その他の肉的事ことはすべて整えてきました。あれもこれもではありませんでした。

ただ私は私に目覚めたかった。自分に誠実に存在する喜び幸せを満喫しています。

一三〇、自分が自分に目覚めたかった。総力を上げて、私は今世にその思いを実現するように自分の中を整えてきました。たくさんさんのエネルギーを心に秘め、たくさんさんの宇宙を心に抱え、それでも私は自分が自分に目覚めたかったです。

本当の優しさとは何か、本当の温もりとは何か、自分とは何か、心の中でその回答を引

き出したかったです。

心の中の温もり、優しさ、安らぎ、幸せ、喜びが、私の中で今、現実のものとしてこうですよと教えてくれる自分があります。

田池留吉、そしてアルバート、その世界、その宇宙は私にとって、本当にかげがえのないものでした。

田池留吉、アルバート、その世界を真っ直ぐに捉えて離さない私がしっかりと感じられます。それがただただ喜びです。

私は、この三次元の中で、ようやく、自分に真実を伝えることができると確信しました。ともに歩いていける喜びを、今、心に感じています。

瞑想をして宇宙に思いを向けると、即座にたくさん宇宙達のエネルギーを感じます。異語がボンボン口から飛び出します。その異語に乗せて、私はエネルギーを発しています。宇宙とともに歩いていけるこれからの時間を、存分に味わってまいりましょう、そうやって、私は、私の中の宇宙にメッセージを送り続けています。

喜びの宇宙、苦しみの宇宙、本当に夥しい数の宇宙、そのエネルギーの膨大さ、心で受け止めていける喜びは、本当に大きなものがございます。

母の思いを心に広げ、私は宇宙を心に受け止めています。

私達宇宙の思いは、遙か、遙か彼方へ続いていきます。そこには、とても大きな世界が広がっています。宇宙全体に心を向けていきましょう。私の中からそう伝わってきます。田池留吉、アルバート、心の中の喜びがそのように伝えてきます。宇宙は広い、広い、広いんです。心を田池留吉、宇宙、アルバート、母なる宇宙に向けて、宇宙を受けていってください。宇宙へ思いを向けていくことが喜びです。宇宙とともに次元を超えていくことが喜びです。田池留吉、アルバート、心の中より伝わってくる思い、このエネルギー、しっかりと心に受け止めていきます。ありがとうございます。

一三一、ただ真つ直ぐに、真つ直ぐにしっかりと、しっかりと。

心の中の田池留吉、アルバート。私は、今、心を向けて語ります。

この私の意識の世界、とてもとても凄まじいけれど、しっかりと、田池留吉、アルバー

トをとらえて離さないこの心に偽りはございません。

苦しい、苦しい中で生まれてきた私の心。今、私は田池留吉、アルバートを呼び続けることが幸せだと心に感じています。私は、もう何も要りません。肉的事とはすべて整えています。

私の来世もすべて整っています。肉的事とは心配ありません。ただ、私のこのエネルギーが肉を飛び出ていくには、それなりの環境がある、それだけでした。私は、今、それも幸せだと感じています。

もちろん、塩川香世というこの肉を持っている今、とても幸せです。喜び溢れる中で、自分を押し進めていける力強いエネルギーを感じています。このエネルギーがあればこそ、私は、自分を全開していけるのです。

心を母なる宇宙に向けていく道筋をしつかりとつけた今世でした。私の中に何もありません。ただただこの道を真っ直ぐに、ひたすら真っ直ぐに歩いて行くのみ、突き進んで行くのみ、ただただ、私はその思いだけです。

心の中をありがとうが埋め尽くしています。凄まじいエネルギーは、すべてを喜びに変えていく根幹のエネルギーでした。喜びしかないと、今、心に感じています。喜びを溢

れさせていくこれからの時間です。私の中にあつたすべての意識達とともにこの三次元を超えていく計画のもとに、今この肉をいただいています。私のこの肉体細胞が、今、私を支えていること、それが喜びだと肉体細胞から返ってきます。

心を見つめていくには、肉が必要。今の段階では肉が必要なことを私は伝え続けてきました。

肉を持つている間、可能な限り自分を見つめ、喜びを大きくしていきます。そして、この肉を離れたあと、その喜びの思いを宇宙に向け発信してまいります。

私は、喜びです。喜びで宇宙に向けて発信していくこれからの時間を思う時、本当に嬉しいです。そして、私は喜びの思いで再び肉を持ちます。そのエネルギーを、肉を通して伝えていきます。とても嬉しいです。

田池留吉、アルバートに心に向けて、私は喜びを発信していく意識です。今、私はしっかりと自分をとらえています。田池留吉、アルバートが私のすべてでした。心を語れば、そう出てきます。田池留吉、アルバートが私のすべて。私は田池留吉、アルバート。私は、一つの中にある喜びを伝え続けます。私はあなた、あなたは私、一つの世界にあることを感じられることが喜びです。ありがとうございます。

一三二、焦らなくてもいい、しかし、たゆまずに真摯な気持ち、真摯な思いで、そして前向きに、私はこれを自分の基本に据えて、今まで学んできましたし、これからも自分の道を歩き続けます。まずは、二五〇年後、アルバートとの再会を果たします。私はそこへ行くまでの道のりを自分の中で歩き続けます。もちろん、それは意識の流れの一点です。その一点を着実に通過し、私は自分の意識の世界を進めていくのです。

この肉がある間、田池留吉の肉がある間、もちろんその学び方があります。そして、田池留吉の肉がなくなつてから、また私の学び方があります。さらに、私はこの肉を離れたとき、離してから、私の学び方があります。すべては私と私の世界です。

そうはつきりと言えるのは、私の世界の中に、たった一つの真実を打ち立てた現実があるからです。

田池留吉の肉がもたらしたものは、私の中で、本当に大きなものでした。その意識の变革は、これからの私の時間の中で、永遠にさらなる進化を目指して歩み続けます。それが私の時間、私です。

一つに同化していく道筋を喜んで、喜んで歩き続けます。

田池留吉、アルバート、今はそう呼べることが何よりの喜びです。やがて、それさえもなくなり、ただ存在していることが喜び、そう感じられる私があります。

一三三、今この一瞬に、アルバートに触れることができる、それを楽しみながら、喜んで自分のエネルギーを感じ、そして瞑想を続ける毎日です。

肉という厚い壁を突破していくために、これからの転生を用意している人類です。他力のエネルギーで覆い尽くされた意識の世界に、どれだけの変革をもたらしていくか、すべてはそれぞれにかかっています。

しかし、次元移行の流れは、粛々と進められています。それは着実に遂行されます。もちろん、三次元に留まる意識も数多くあります。次元移行を果たせない意識は、また形を持つてくるでしょうが、やがて地球という星は生息不可能な状態になっていきます。ということとは、三次元に留まるも、それらは宇宙のもくずになって、さ迷い続けるということでしょう。

う。自らが気付くまでさ迷い続けます。そのような意識達も、やがて気付くチャンスはあるかもしれませんが、それにはそれこそ気の遠くなるような時間を必要とします。

田池留吉の意識は、そのようなことを伝えにきてくれました。それはもう本当にすごいことです。そして、伝えてくれた内容を心で分かるということもすごいことです。

他力の道一筋、他力の道まっしぐらの意識の世界からは、到底窺い知れないです。他力一色の意識の世界に風穴を開けることは、まだまだ難しいのが今世です。それが現状です。私は、その現状をしつかりと把握しながら、淡々と喜びの道を歩いています。なぜならば、私は意識の流れを心にはつきりと感じているからです。そして、風穴を開けるのは何かもはつきりと知っているから、ただ淡々と歩いていけばいいと思っています。

粛々として流れる意識の流れは、ただ次元移行を伝えていきます。

一三四、真実に触れるチャンスは、すべてに公平にあります。

自分の中の真実に目覚めればそれでいいのです。どうぞ、自分を大切にしていきましょう。なぜ、今、自分は肉を持っているのか、本当に真剣に真摯に自分に思いを向けてみてく

ださい。

田池留吉のエネルギーは、確かに、限りなく大きくて広くて温かくて、そして力強いエネルギーです。

そしてまた私達のエネルギーも然りです。そのことが心で分かってくれば、田池留吉の上に見ることも下に見ることもありません。

自分の持ち時間、どのように使われても自由です。しかし、自分を粗末に扱うのだけは止めましょう。

自分に愛され、自分に慈しまれてきたことに思いを馳せて、その自分に、どうぞ誠実に応えていきましょう。

その姿勢が、田池留吉の世界を知っていくことに繋がっていきます。

田池留吉の世界を知っていくことは、自分を知っていくこと、それは、ただただ喜び、喜びです。喜び以外に何も無い世界、それが私達の世界です。

一三五、人生の目的、自分の歩むべき方向、それを本当に知ったから、肉の私を含め、私は幸

せです。

存在のあり方、自分というもの、すべて自分の中から明確に伝わってきます。

探し続け、求め続けてきた思いが私の中で合致した今という時、肉を持たせていただいたことに感謝しかありません。

田池留吉、アルバートの意識とともにこれからも仕事をしていけること、本当に喜びです。自分に向けて真実を伝えてやれること、こんな幸せはありません。

過ぎ去っていく肉の時間を惜しみ愛しく思いながら、しかし、私の思いは遙か先を見つめています。苦しみ喘ぎ続けてきた時間が私に愛しさを伝えてくれます。本当によかった、本当によかった、肉を持つてきた過去の歴史を思うとき、あと残り少ない時間に、少々感慨深き思いが出てきます。この地球上で肉をくれた母の意識に、本当にありがとうございますと思っています。衰退しその役目を終えていく地球という星に、本当にありがとうございます。思いを込めて、あとしばらくここに留まらせていただきます。

一三六、今に生きる、今を大切に生きる。

自分の心を知っていけばいくほど、今という時がどんなに大切な時であるかが分かってきます。そして、今という時がどんなに大切な時であるかが分かってくればくるほど、自分は本当に幸せな存在であることが、心に響いてきます。

何もなくても、自分があります。自分の心があります。自分の意識の世界があります。その中に存在している自分を感じていくこと、感じていけることが、何よりも、何よりも幸せなんです。

自分の心の中が、柔らかい波動で満たされていくでしょう。

ああ、お母さん、ありがとう、本当にありがとう、こんな優しくて柔らかくて温かい世界に出会わせていただいてありがとう。

みんなみんなこの波動の世界を知っています。

どうぞ、そのような自分の世界を信じて、ひたすら自分に誠実に存在していきましよう。今の自分から喜びを、幸せを感じていけるのは、ひたすら自分と向き合った結果の賜と言える、そのような時間を自分の中で広げていってください。

優しい思いで自分を思える、自分を呼べる、こんな幸せなことはありません。田池留吉はしっかりとそのことを伝えてくれました。

一三七、ゆったりとした時間の中で、しかし、心は田池留吉です。心はアルバートです。それをつかんで離さない思いが、必死でただひたすらに自分を見つめ、たくさんの自分の中の自分とともに歩みを進めてきました。

そのエネルギーで心が満たされていく、それが力強い喜びとなって、自分に戻ってくる、その世界を確立するために、肉を持つてきました。

今世の私はそうです。来世の私は言うまでもありません。

それで私の三次元は終了です。

はつきりとした計画のもと、自分の意識の世界から伝えてくるメッセージに従い、私はこれからも存在していきます。

今、肉が必要だから、この道を進んでいくために、肉は支障なく動いてくれます。肉と細胞とともに、私は自分のすべきことをしていきます。それが私の喜びです。心の中の田池留吉、アルバート、その宇宙とともに存在していけることが、ただただ喜びなんです。

貪欲に学んでまいりました。納得する学び方をしてまいりました。

私の肉の時間は、自分の意識の世界を変革することにある、はっきりとした目的意識のもとに存在している私です。

一三八、田池留吉の肉がなくなってからの私の学び方について、田池留吉に尋ねます。具体的に私に語ってください。

私は田池留吉です。あなたが感じている通りです。私の肉がなくなっても、私はあなたにメッセージを送ります。私の肉がなくなっても、あなたに伝わってくる波動の世界、真実の波動の世界、田池留吉の世界その宇宙、アルバートの世界その宇宙、私はあなたを通して語ります。

私に聞いてください。私に心を向け、私の意識に心を合わせ、メッセージを受けていただきます。

あなたの学びは、私の肉があってもなくても同じです。あなたが心を向け、心を合わせ、そこから感じるものを、ただあなたのその肉を通して伝えていきます。

私は田池留吉の意識です。これからの時間、私は心より語ります。これから、日本にも今よりもはるかに規模の大きい天変地異、社会現象が起こってまいります。私はそのたびに、あなたが心を向けてくだされば、答えます。

天変地異は、私達に真実の波動を心に伝える唯一の手段です。社会現象も然りです。なぜそういうことが起こってくるのかと私はあなたを通して訴えてまいります。それはこの田池留吉の肉があってもなくても同じです。おそらく、あなたは私の肉がなくなった後、今よりもより一層、心を私に向けてくるでしょう。私のメッセージを心から真剣に受けていくでしょう。

それがあなたのこれからの時間の学び方です。私はあなたにそのことを伝えます。

肉がなくても田池留吉が語ってくる世界、その世界を伝えていけるのはあなたです。どうぞ、田池留吉の心をしっかりと今、さらにしっかりと受け止めていただく下さい。

学びは続いてまいります。今は今の学び方があります。田池留吉の肉があり、あなたの肉があり、そしてUTTA会が存在するその中での学び方があります。

そして、私はもうしばらくの後、この世から姿を消します。そうした後、あなたはその田池留吉を思い、田池留吉の世界を伝えていくでしょう。

心に伝わってくる田池留吉の世界、それを形、つまり今語っている日本語で表していきなさい。心を田池留吉に向け、波動を伝えていくのです。

あなたから出るメッセージは、田池留吉の言葉、田池留吉の波動です。その信をもう少し、今、しっかりと太くあなたの中で育んでいってください。

一三九、すべての意識とともに次元移行をというのは、この三次元に限ったことではありません。すべての意識が三次元にやってきたわけではないからです。

つまり、地球上に一度も肉を持たずに存在している意識が、宇宙に無数にあります。その意識達は、私達のように、自らを修正する手立てはありません。それでは、その意識達が、自分の本来の姿に気付いていくためには、どのような方法があるのでしょうか。

それらの意識達が自らに目覚めていくには、宇宙の隅々にまで轟き渡るような広大で力強い喜びのエネルギーを必要とします。

現実の世界からまずこの三次元に、その力強い喜びのエネルギーが発信されました。そして、それを受信して、自らを目覚めさせた意識の存在があります。ブラックのエネルギー

が自らの中にある光に気づき、そして、自らエネルギーの質を変えていくことに成功したのが今世でした。

これまでのセミナーの中で、田池留吉から、「私は宇宙に向けてセミナーを開いています」というメッセージが幾度となく発信されたことを、私は、今、自分の中でもその通りだと理解しています。

宇宙に向ける瞑想の中で、喜びを発信していけることを確認しています。今、肉を持っている間はもちろんのこと、私は、肉を離れた後、二五〇年後に肉を持つまでの間、その意識に喜びのエネルギーを発信していくことになるでしょう。

自らに目覚めるために、今世、私は田池留吉、アルバートの意識と同時期に肉を持ちました。その意識が肉を持つと同じ時期に肉を持ちました。そして私は自分の意識の変革の道筋を立ててきました。その計画が遂行されていく中で、私の意識の世界は大きく変わりました。

私の意識の世界から流れるエネルギーが、これからも田池留吉、アルバートとともに、この地球上に一度も肉を持たない意識、その世界に波動として伝えていきます。意識の流れを伝えていきます。意識の流れをストレートに伝えていくんです。

三次元を通過してきた意識達は、この三次元的な思い、つまり肉を本物とする思いを自分の中で転回することなくしては、次元移行は叶いません。一方、一度も肉というものを持たずにきた意識達は、力強い喜びのエネルギーをストレートに受けて、二五〇年後の次元移行へ向けて、大きな手助けをしてくれるでしょう。

一四〇、心を見るということを知識として知った人達は、あとはそれをただ実践していけばいいだけです。そうすれば自然に分かってきます。それぞれに予定してきた道が見えてきます。そして、その見えてきた道を、計画通りに淡々と歩む、それさえしていけば、自ずと私は本当に幸せな存在でしたという思いが心から湧いて出てきます。

そうなってくれば、肉のあんなこともこんなことも、あまりこだわらなくなってきました。と言つて、いい加減ではなくてきちんに対応します。

意識の世界は理路整然としています。決していい加減ではないです。

本当に意識の世界の喜びや幸せを感じていけば、肉の生活など整って当たり前なんです。形を整えようと奮闘努力しなくても、肉のことなど整ってきます。

意識の世界にある自分をはっきりと自分の中で感じてくれば、その世界を、肉を通して感じていけることに本当に感謝の思いが出てきます。肉に感謝です。すなわち、肉をきちんとする、生活を正す、それは自分の中の感謝の表れだと、私はそうに感じています。

一四一、心と心が通じ合う世界、意識の世界、私の中に喜びが広がっていきます。

温もりを伝えていけることが喜びです。私の中のたくさんの宇宙達が、その喜びを待っています。私は、これより二五〇年に至る時間、この喜びをこの心の中で広げてまいります。田池留吉、アルバートとともに歩いてきた意識、その意識をしっかりと自分の中に伝えていく予定です。この計画は、これからどんどん遂行されていきます。私は、その喜びを今ここに伝えていきます。ありがとう、私の中のたくさんの意識達に伝えていきます。

嬉しいです。田池留吉、アルバート、天変地異の喜びを私は伝えていきます。心の中の真実を目指していくエネルギーは、大きな、大きな天変地異を呼び起こしていきます。宇宙に轟き渡るほどの大きなエネルギーは、天変地異を、この地球上にも数々起こしてまいります。私の喜びです。心の中の喜びが形となっていくこれからの時間、私は、喜んで、喜んで

その思いを伝えてまいります。

そして、その思いが私にまた肉を持たせます。田池留吉、アルバートの意識とともに肉を持つ私の意識です。アルバートが肉を持つから、私も肉を持つ、これが意識の流れの自然です。

私は、心にこの思いを感じ、とても嬉しいです。ありがとうございます。心をたくさん、たくさん見させてくれるこれからです。

宇宙に思いを向けるとき、宇宙からたくさん喜びが帰ってきます。

ああ、ありがとう、ありがとう。地球、地球。地球という星に、本当に感謝の思いが広がっています。心の中に喜びを広げていけることを、地球に伝えてまいります。この星は、本当に、大きな、大きな愛の中にあります。今、私はその喜びを感じています。

一四二、お父さん、私はお父さんに意識を向けています。父の意識に思いを向けています。分かりますか、お父さん。

異語。

はい、ありがとうございます。ありがとうございます。いつも、いつもありがとうございます。心を向けてくれてありがとうございます。はい、嬉しいです。今ここにこうして語れること喜びです。ありがとうございます。はい。ありがとうございます。

私は、今ここにいます。あなたの中で語っています。温もり、優しさを感じています。今、心を語らせていただけること喜びです。ただただ嬉しいです。中にある凄まじいエネルギーの中で、私は、その喜びを今、語らせていただいています。心をしっかりと語ってくださいと伝わってきます。

はい、私は、もうしばらくして、この心が肉を持ちます。私の中で肉を持つその時を心待ちしています。その人生、とても厳しい転生となりましょう。しかし、私は、これからのその心を少しずつ開いていきます。今、あなたから伝わってくる思いを、心に広げていきます。肉の生活の中で、私は心を沈めています。その心の中に、今、感じている温もりと安らぎを広げていける転生となりましょう。

私の過去からの転生に比べ、少しずつ変わってきています。それはあなたが伝えてくれ

たように、私にも、二五〇年後の来世があるからです。その時を目指して、私の中は、これからの転生の中で準備を整えていきます。

今、語らせていただいている私、とても嬉しいです。

私はあなたとともに生きています。心の中に嬉しい思いを広げていける、そんな私がございます。そして、肉を持ち、心が沈み、私は、しかし、その沈んだ心に、今感じている心を、伝えてまいります。あなたとの約束を果たしてまいります。二五〇年後の出会いを大切に心に秘め、私は、これから転生をしてまいります。

ありがとうございます。呼び続けてくれてありがとうございます。これからも私を思ってください。私もまたあなたに伝えていきます。ありがとうございます。

異語。

一四三、私は、自分を学ぶために、こうして肉を持って、今ここにあります。

自分を学ぶためには、田池留吉という意識の世界と出会うことは必定でした。瞑想をす

れば、その思いがズバつとききます。

そのために、私はあれもこれも肉的なことはみんな整えてきたんです。

その最たるものが、人の死です。

ワン、ツー、スリーで、私は、自分の意識の世界を大きく変えていく局面を計画してきました。

ワン、夫の死です。これにより、学びに集うきっかけを得ました。

ツー、父の死です。これにより、意識の転回の緒につきました。

そして、スリーです。これにより、私は、本当に田池留吉と一体となって、真実の道を淡々と突き進んでいくでしょう。

こんな愛に満ち満ちた計画を自分に用意してきたことに、本当に感謝です。

二五〇年後に続く時間、そして次元移行、すべては綿密に計画された意識の流れの中にあります。だから、思いを向けることが喜びです。淡々と瞑想をすることが喜びです。私は私の未来を、過去とともに今、感じていきます。

一四四、こんなに楽しいことはありません。目を閉じて思うとき、本当に幸せを感じます。喜びを感じます。

そして肉の時間もまたいいんです。それは言うまでもなく、自分の中の歴史が大きく方向転換を果たしたからです。

どんなに私が喜びと幸せ、安らぎを感じても、どうしても自分の中で一〇〇%納得がいかなかった訳を、今の肉を通して知りました。それが私には嬉しくて、嬉しくて、ようやく、やっと、やっと、やっとだ、そんな思いが心にどんどん出てきます。

来世の私からは、その喜びが一段と大きく伝わってきます。

来世の肉を持つまでの間に、私自身が学んでいき、自分の中を整えていくことが、それに大きく起因していくのだと感じています。

だから楽しいです。自由に伸び伸びと宇宙に思いを馳せることができる時間を用意していることが、たまらなく嬉しいのです。

これから二五〇年に至る時間、ただただ喜びです。次元移行が既成の事実である私には、ただこの道を真っ直ぐに行くだけ、本当にこんなに楽しいことはありません。嬉しいのです。

一四五、私は、あと一回しか肉を持たないことを知っています。自分の中からそのように伝わってくるからです。私の転生はあと一回。地球上に肉を持つという転生というものは、あと一回を残すのみです。

その思いが明確に伝わってくるからこそ、私は、今世のこの肉もまた、もうアルバート一直線に存在していくだけだとなってきました。必然的に、今の肉の存在の仕方が決まります。気張ることも、頑張ることも、落ち込むこともなく、ただ淡々と生きていけばいいだけです。なぜ私というエネルギーが肉という形を持つてきたのか。ずっとずっと数え切れないほどの転生を繰り返してきたのか。今は、それが本当に自分に対しての限りない愛、優しさだった、そんな本当の自分の思いを感じて、私は幸せです。

長い、長い間、得手勝手に存在してきたけれど、私は私を待つていてくれていた事実を、今のこの肉を通して知りました。

私が私を待つていた、信じて待つてくれました。私は、それが田池留吉、アルバートの意識、母なる宇宙だと知ったのです。

こんな喜びはありません。こんな幸せはありません。

次元移行を目指して、いいえ、永遠に続いていく喜びを目指していく、それが私という存在です。

一四六、私の最後の転生の地、アメリカ。

田池留吉、アルバート、母なる宇宙の意識とともに、転生します。このエネルギーは再び肉をいただきます。

たくさん UFO 達を引き連れ、私は多民族、多宗教の地に、そして、人間の飽くなき欲望が渦巻く中に肉を用意します。

意識の目覚めは、アマテラスの国日本からでした。アマテラスのもとに統一された国だからこそ、今世の計画は成功しました。それは、アマテラスの特異性に起因するところが大だと思えます。そして、これからよりいつそうアマテラスの崩壊とともに、その喜びのエネルギーは、宇宙に流れ出していきます。真実の世界からのメッセージは滞りなく宇宙に広がっていきます。

二五〇年に至る時間は、とても大切な時間です。真実の世界からの通信は途絶えること

なく、そして、私はそれを受けていきます。そして、アメリカです。私達は、三次元最終の地をアメリカに選びました。この地から、私達は存分に喜びを発信していきます。良きにつけ悪しきにつけ、開放的な土壌が育っている場所、そんな場所から、真実を発信していくのです。

私は、私の仲間UFO達と、そしてまた三次元最終の地で出会う人達と喜びを共有し合えることがただただ嬉しいです。

一四七、存在を喜び、意識の世界の真実を心に感じてくれば、当然のことながら肉に感謝の思いが湧いて出てきます。

肉に生きるという喜びではなくて、肉とともにある喜びを感じ、今ある肉がこの上もなく愛しく感じます。

生活をするのが楽しい、肉とともに時間を費やしていくことが楽しい。

それは自分の姿を心に感じているから、過去とともに永遠の未来の自分を今に感じているから、今という時間に、今のこの肉にありがとうしかありません。

ちっぽけな肉から、広大無限の宇宙を感じていくことができる、だから瞑想をすることがとても嬉しい、喜びです。

ところで、人間の意識の世界を転回させるには、これからの二五〇年という時間はどうしても必要な時間です。築いてきたものが一瞬にして崩れ去り消え去る体験の中から、命の儚さ、形ある世界の儚さを目の当たりにしていきます。生きる意味、死んでいく意味、自分という存在、それらを思わざるを得ない状況になってきます。

そういうことを経ない限り、人間が自らに目覚めていくことは難しいです。人間の知恵と勇氣、意識の世界にある自分自身に目覚めてこそ、本領を発揮します。

一四八、幸せ、喜び、お母さんありがとう。心に向け、心を合わせると、この世界しかありません。はい、心に広がっていく喜びの世界。田池留吉、アルバートに心を向ける、合わせる、それだけでいいんです。

それができる今世、幸せでないはずはない。喜びを感じないはずはない。心が広がっていきます。

お母さんに向けて心がどんどん広がっていきます。

温かい温もりが心に広がっていきます。

田池留吉の中にある私の喜びと幸せ。

田池留吉です。私は幸せです。私は喜びです。ありがとうございます。

ありがとうございます。私の世界を心を感じていただきありがとうございます。ともに生きていく意識、ともに存在していることを感じます。

アルバートの中に帰ってくることを伝えました。私のメッセージを心で受け取っていただき、ありがとうございます。これからも、私は語ります。喜びを受けていってください。心の中より語ります。田池留吉の世界、その波動を受けていってください。

ただ心に向けていだけです。私はあなたとともにあります。田池留吉の心はあなたの中で語り続けます。私の思いを受けていきなさい。アルバートの思いを受けていきなさい。喜びを感じ、幸せを感じ、温もりを感じ、ともに歩いていく私達を感じ、はい、喜びです。

私の意識の世界に心を向ければ、私は答えます。あなたの心の中に波動を伝えていきます。

私は波動、遙かなる宇宙の中にある喜びのエネルギー、ともに心を合わせていく喜びをただ

ただ伝えていきます。

一四九、今、私達は、田池留吉の肉、その意識とともに、心を見る学びをしています。

毎月二回あったセミナーも、今は、年に三回です。組織はもともとありません。そして、田池留吉は学びの教祖でも指導者でも何でもありません。

ただ、真実の世界を真っ直ぐに語り、伝えてくれた人です。

その語り伝えてくれたことを信じていくかどうかは、セミナーに集ってきた人達の選択です。

学んでいこうと思えば、学んでいけばいいのです。全くの自由です。

所詮、心を見ない人には、田池留吉の言うことは理解できないし、何より自分に冷たいことが全く分かりません。

一般的に、宗教団体、宗教法人等の教祖、指導者、代表等は、信者のぶら下がり苦しき喘ぐ結果となります。我に心を向けよと自ら言っておきながら、それがどんな苦しみなのか、肉を離していったときに思い知るのです。

田池留吉の世界には、ぶら下がることができません。欲を持って向かっていっても、それは己に返ってくるだけです。

他力のエネルギーは、田池留吉の世界には通用しません。そのエネルギーは自らに戻り、それにより自らを苦しめていくことを知りなさいと、田池留吉の世界は、淡々と伝えてくれているだけです。

このことを心で理解するには、自分の心を見る以外にはありません。自分が築き上げてきた他力の世界を崩していくことが、どれだけの優しさなのか、心を見ない冷たい人には絶対に分からないことです。

一五〇、私は、喜び、嬉しい、アルバートありがとう。田池留吉ありがとう。喜びが心に広がっていきます。素直に語りなさいとメッセージがきます。

はい、私の中は嬉しいです。嬉しい、本当に嬉しいです。母の思いを感じています。母の温もりを感じています。素晴らしい、素晴らしい世界です。ただただ温もりの世界です。

私の中には何もあります。ただこの優しさが広がっていくだけ。素直に心を語りなさい

いとメッセージがきます。

はい、嬉しい、ありがとう、喜び。お母さん、ありがとうございます。私は私を感じています。

はい、嬉しいです。心の中に嬉しさが広がっていきます。

私の中に田池留吉、アルバートの宇宙が広がっていきます。瞑想は喜び。

私は、田池留吉の意識です。心を私に向け、思いを語っていきなさい。私の思いを語っていきなさい。

異語。

はい、今、田池留吉、アルバートの宇宙に心を向けています。

私の中は広がってまいります。広い、広い世界を感じます。

異語とともに広がっていく世界、心に感じ幸せです。

このような瞑想を重ねていくことが私の喜びです。ただただ広がっていく世界、温もり

の世界を私の中に感じます。

田池留吉からの問いかけ

一、あなたは、肉の喜び、肉の幸せを知っていますか。

二、あなたは、自分が愛しいですか。

三、あなたの心は明るいですか、暗いですか。

私、田池留吉の世界を感じていますか。アルバートはどうでしょうか。

あなたの来世を感じていますか。あなたの来世はどのように語ってきますか。

宇宙を思っていますか。宇宙の喜びを感じていますか。

宇宙の苦しさも感じていますか。

宇宙を、あなたはどのように思っていますか。

田池留吉の世界からのメッセージ

「一、心の中をしつかりと見つめていきましょう。心の中にある田池留吉の世界を、どうぞ、どうぞ、感じていってください。」

その世界は、あなたが田池留吉の世界を思い、心を向ければ向けるほど、あなたに語っていきます。

田池留吉の世界を心で知ることが、どれだけの喜びであるのか、あなたに語っていくでしょう。

「私は、田池留吉の波動を流す意識です」。そう、私は、そのようにあなたに伝えました。あなたの中から、田池留吉の波動が、たくさん、たくさん、流れていくことを、私は、待っています。

心を田池留吉に向ければ、向けるほど、あなたからたくさん田池留吉の波動が流れていきます。

私達は一つの世界にあることを、私は、あなたに伝えました。

心を田池留吉の世界に合わせ、私の波動を流し続けていきなさい。

心の中にある喜びの思いが、もっと、もっと、大きくなっていきます。

私は、それをあなたに伝えたいのです。

心よりありがとうの思いで、あなたに伝えたいのです。

ようやく私と出会っていただいた今世でした。今世の出会いを、本当にありがとうございます。
います。

二、温もりを信じていきなさい。あなたの中の温もりを信じていきなさい。

私は、あなたに、そのように、ずっと伝えてきました。温もりがあなたですよ。母の温もりが、あなたの中に息づいているのですよ。そうやって、私は、ずっと、ずっと、この三次元の中においても、伝えてきました。

田池留吉の意識を心に感じられるようになっていってください。そうやって、私は、あなたとの出会いを、ずっと、ずっと待っていました。

心の中に、私、田池留吉の意識を感じられること、今、喜びのあなたと出会い、私は、とても嬉しいです。

心の中の田池留吉を、そうあなたが素直に呼んでくれることが、私には嬉しいんです。田池留吉の世界、田池留吉の宇宙、私は、あなたに、これから、どんどん波動の中で、お伝えしていきます。

あなたの心の中に波動として伝えていく田池留吉の世界、田池留吉の宇宙、心で受けていってください。

心が、どんどん広がっていく、その様子を、しっかりと心で受け止めていってください。

私は、波動です。田池留吉の世界は波動です。

波動を心で感じていけるあなたであることを、私は、ここに、今、お伝えします。私の世界を受けていけるあなたの意識の世界です。

私は、たくさんの人達に思いを向けてきました。

しかし、私の思いに通じる難しさを、私は、お伝えしなければなりません。

田池留吉の世界は、心で感じる世界ですが、その心の中を、しっかりと見つめていくことを、まずはお伝えしたいです。

田池留吉の世界と、他力のエネルギーとは、全く合わないものです。

他力のエネルギーを、しっかりと見つめていない意識の世界に、田池留吉の世界は、全く分かりません。

同じ言葉を使うかもしれませんが、しかし、波動の世界は正直です。波動の世界は、本当に正確なんです。

これから、あなたの心の中から私が語ることによって、その波動を伝えていけることを、約束します。私、田池留吉の世界を、ただただあなたの心から伝えなさい、私は、あなたの心の中から、そうお伝えします。

このことを、あなたは、どれだけ心で信じられますか。

しかし、私は、あなたの心で受け止めていけるあなたであることを、伝えます。

三、人間は意識です。私の意識は、セミナーを通して、今世伝えてまいりました。

人間の本当の姿は意識です。私達は今、肉という形を持っているだけで、私達は、死んでも、ここに存在しています。

そのことを、今まで誰一人明らかにすることはできませんでした。

人間の本当の姿が意識だということに、なかなか心で気付けなかったのです。

しかし、人間は死ねば、その身体は朽ち果てますが、朽ち果ててもなお、そこに存在しているものなのです。私は、このことを、皆さんにお伝えしてきました。

しかし、肉という形を持てば、なかなかそのことを心で分かるということは難しいと思います。

たとえば、あなた達の周りで、家族の誰かが亡くなったときに、その人達の意識の世界を心で感じるということをしていけば、あなた達は、私がお伝えてしてきたことに、今よりも何か、現実味を感じられるかもしれません。

ただし、亡くなった人達が、生前に学んでいなかったり、あなた達自身が肉というものを信じ、その基盤に立っていたりでは、残念ながら、何も伝えることはできないでしょう。あなたは温もりですよと伝えても、相手は語ることですらできない中において、何の反応も示さないということです。

要は、自分がどれだけ意識の世界を信じ、転回が進んでいるか、それだけです。

そこが、この学びの難しいところです。しかし、やがて、皆さんの目の前に現象化して

きます。形が崩れて、崩れて、崩れ去っていくとき、それでもなお何かを自分達は訴えているのです。その訴えている自分達はいったい何なのか、それを心で知っていくこれからだと思います。

四、瞑想は喜びです。

瞑想をする時間を持ちましょう。できれば一時間瞑想を復活していつてください。

どこまでも、どこまでも広がっていく世界があなたの世界です。

温かい、温かい温もりが、あなたの心の中から、コンコンと湧き出てきます。

このまま、このまま、ずっとこのままでもいい。静かに、静かに、温もりと喜びが広がっていきます。

この波動の世界が田池留吉の世界ですよ。田池留吉は波動です。

田池留吉の世界は波動の世界です。幸せですね。喜びですね。温もりの中にある幸せ、喜び、そして、どこまでも広がっていく波動の世界、私は、波動であなたに語っています。

五、優しい思い、温もりの波動を流そうとしなくても、流れるんです。

本当に、田池留吉の世界を心から信じていけば、それは自然なんです。

その信が強く大きくなればなるほど、また喜びの優しく温かい温もりが流れていきます。一信じれば一、それが十であれば十です。

簡単でしょう。極めてシンプルです。

あなたが感じているように、人は肉を離せば、殆ど固まった状態です。

優しくて温かい波動が自分から流れ、その波動で自分を包んでいくことができなければ、肉を離せば、時間の経過とともに固まっていきます。

肉を持っている間には、持つてする勉強が、肉を持たない間には、持たずにする勉強がある、そう、私は、あなたにお伝えしています。

要は、肉があってもなくても勉強ができる、そんな世界とどんどん出会っていつてください。

六、ようやく、ようやくですね。よくここまで私を知ってくれました。その世界を知ってくれました。これからのあなたの歩みを、ともに、ともに歩んでいけることを、心で感じています。心を感じていますよ。どうぞ、どうぞ、田池留吉の世界に心に向けていきなさい。ただただ私は、そのことを伝えていきます。

はい、今、私は、あなたの中からどんどんどんどんメッセージを送っています。波動として伝えていきます。

心を広げて、そして私のほうに思いを向けていきなさい。

すべてはあなたの計画でした。あなた自身が計画してきたことでした。私、田池留吉と出会い、こうして田池留吉の世界へ心を向けていけるあなた自身です。今を喜んでいってください。

今の時間が、どんどん未来を開いていきます。

心を感じる世界、喜びと温もりの世界、どうぞ、その世界を心で味わっていただく。私と心で語り合う時間を持つほど、心に喜びと幸せを感じていくでしょう。

その中には、欲の思いがありません。ただ喜びが広がっていくだけです。私と心一つにして、喜び溢れる世界を心で感じていける、そしてその波動の世界をあなたの中からどん

どん伝えていける、そんな喜びの波動を流していつてください。

肉の思いで遮ることなく、あなたの中から、どんどんその思いを流していくんです。私は、そのように伝えてきました。

どうぞ、瞑想をして、心を田池留吉の世界に向け、あなたの中に感じる喜びと幸せをどんどん伝えていつてください。

七、心の中に田池留吉を思うとき、あなたの中には喜びが広がっていくことでしょう。宇宙を呼ぶあなたのエネルギー、そのエネルギーがすべてを変えてまいります。

喜びのエネルギーです。宇宙が変わっていく喜びのエネルギーを、田池留吉に、もっと、もっと心向け、そのエネルギーを確認していつてください。

暗黒の宇宙から喜びの宇宙に変わっていくとき、私達は、とても嬉しい。その嬉しさをあなたの中から、流していつてください。私、田池留吉の世界は、そのようにいつも伝えていきます。

田池留吉の世界と心一つにして、喜びのエネルギーを流し続けていくのです。私達宇

宙へ流していくのです。心の中より伝えます。

私、田池留吉の波動は、限りなく温かく優しい温もりの世界。その世界を宇宙へどんどん流していきなさい。あなたの仕事はそれなんです。

心を田池留吉に向け、宇宙へ喜びの思いを流していくことです。だから、私は、あなたに宇宙に向けて喜びを感じていってくださいと伝えてきました。宇宙を感じることは喜びです。宇宙を感じていってください。

八、私、田池留吉の意識が肉を持った訳は、もうすでにご存知ですね。

私は、大切な仕事をするために肉というものを持ちました。本来は、私は肉を持つ必要などないのです。そのような意識が肉を持ったのです。

人間は意識ですというメッセージをお伝えするために、私は、肉を持ちました。

従って、私の仕事が成就しないということは、絶対にあり得ないのです。

そして、それは、ほぼ達成しています。今世の仕事は、ほぼ達成しており、あとは、三次元最終の仕事を待つのみという段階です。

学びは、今、そのようなところに来ています。

今世、学びに触れた人達、どうぞ、自分の心をしっかりと見ていってください。

そしてご自分の心を次の転生に繋いでいけるよう、日々精進していってください。

九、あなたの幸せは、田池留吉の世界を思い、瞑想をすることです。

瞑想をする中で、あなたの幸せ、喜びは広がっていきます。

分りますね。ゆったりとした時間を取って、瞑想を続けていってください。

瞑想をして、田池留吉の世界に心を向けていけばいくほど、喜びが広がっていきます。幸せなあなたを感じていくでしょう。私、田池留吉の世界は、あなたの中に、喜びと安らぎと幸せ、温もりを広げていきます。

私は波動です。波動であなたに伝えています。

温もりも、優しさも喜びも幸せも、私達は同じです。一つの中にあります。私をただただ思い、あなたの中で感じていってください。

そうすれば、あなたがもっと、もっと分ってまいります。

心を、私、田池留吉の世界に向けていくこと、それを、ひたすらにやっけていってください。宇宙に喜びを伝えていけるあなたの意識の世界は、さらに厚くなっていくでしょう。私は、あなたにそのようにお伝えします。

心を田池留吉の世界に合わせ、一つを感じ、そして、宇宙を呼んでいきなさい。

宇宙は、喜びを広げてくれるのを待っています。心からどんどん喜びのエネルギーを流してくれるのを待っています。

それがあなたのこれから、二五〇年に至る時間です。

私、田池留吉は、今、あなたにお伝えします。

一〇、田池留吉です。私は、田池留吉の意識です。

心の中に喜びが伝わっていきますね。嬉しいですね。ともにあることを感じています。ありがとうございます。

田池留吉の意識に心を合わせていく喜びを感じます。

はい、嬉しいです。ともに、ともに歩いてまいります。ともに、ともに、いきましよう。

私達は、同じ方向に心を向け、喜びを伝えてまいりましょう。

田池留吉の世界は、喜びです。田池留吉の世界は、大きな、大きな、限りない宇宙に繋がっています。

宇宙を思えば、田池留吉の世界です。田池留吉の世界の大きさを、あなたの心で感じていってください。どうぞ、心を大きく広げていってください。田池留吉の世界を、どんどん伝えていってください。

心の中に田池留吉を呼べる喜びを感じてください。もっと、もっと、感じていきましょう。私、田池留吉の世界は、あなたの中でこれからも広がり続けます。私、田池留吉は、心からあなたに伝えます。

優しい思いを心に広げ、私、田池留吉の世界に、思いを向けていってください。

アルバートはあなたの未来を指し示しています。

アルバートの心を心として生きなさい。

アルバートの心は永遠のあなたです。

あなたの中からアルバートの喜びを伝えていきなさい。アルバートの喜びを伝えていきなさい。

アルバートの喜びは、私の喜び。田池留吉の喜びは、アルバートの喜びです。田池留吉の世界は、アルバートの世界です。

一一、田池留吉の世界、その宇宙に心を向ける喜びを伝えてきました。

喜びを素直に伝えてきました。喜びを心に素直に受けていってくださいと伝えました。

宇宙を思うとき、あなたの中の喜びは、大きく、大きくなっていくでしょう。宇宙を呼んでいきなさいと伝えました。宇宙を呼んでいくことは、あなたの喜び、私の喜びなんです。その喜びをあなたの中で広げてください。それが私なんですよ、そうやって、私は伝え続けてきました。

宇宙からのメッセージを受けてくださいと伝えてきました。

宇宙からのメッセージを受けることにより、あなたの中は、肉と意識の境目がなくなることを、私は伝えてきました。

素直に私の思いを受け入れてくれたことが嬉しいです。

肉の思いが段々弱まって、あなたの中に私の思いが染み渡ってきたと感じています。

そう、宇宙を感じているあなたの世界は、本当にこの地球を喜びで見つめている思いです。地球を喜びで見つめていくんです。喜びの思いで地球を見つめてごらん下さい。

これから、喜びの思いで地球を見つめていったとき、あなたの中に、色々なメッセージが届いてきます。宇宙から、本当に色々なメッセージが届いてきます。

宇宙が変わっていくことを、どれだけ地球が喜んでるか、あなたの心を通して伝わってきます。そして、あなたの心を通して、エネルギーが流れていきます。地球の内外から喜びのエネルギーが噴き出していきます。それが天変地異と私は、お伝えしました。

天変地異の嵐が、この地球を包んでいくんです。喜びで包んでいくんです。

宇宙が変わっていきます。地球は喜びで、その喜びのエネルギーを受けていきます。天変地異は、この地球のあらゆるところで起こってきます。

大陸は、大きく沈みます。津波はもちろん、日本の国に打ち寄せてきます。

日本の国は、もう海の底に沈んでいる状態です。海の底に沈んだ中で、まだまだ意識達は、海の底から苦しみを訴えてくるでしょう。

私達は、その苦しみを聞いていく、これからの二五〇年です。

二五〇年の間に、たくさん天変地異を、この地球は受けていきます。

私達は、それをしっかりと心で受け止めていきます。その思いを受け止めて、私達は、また肉を持っていくのです。アメリカの地に肉を持っていきます。天変地異の嵐の中で、苦しみ喘いできた意識達に喜びを伝えていきます。それが二五〇年後、私達が肉を持つ大きな仕事です。

二五〇年の間に、この地球上で転生を繰り返す意識達は、とてもとても、苦しい中で、その命を捨てていきます。

その思いがまだまだしっかりと心に残ったまま、二五〇年後、私達と出会うのです。その闇のエネルギーを、私達は、喜びのエネルギーに変えていけることをお伝えします。そのエネルギーが、この地球を宇宙を変えていくんです。

天変地異とともに次元移行をしていくと伝えました。そう、天変地異とともに次元移行をしていくことを、しっかりと伝えていく二五〇年後なんです。

私達は、今その学びをしています。

天変地異とともに次元移行をしていく私達のエネルギー、宇宙からのエネルギー、これが、私達があなたを通して伝えていきたかった宇宙からのメッセージです。

天変地異とともに次元移行をしていくエネルギー、宇宙からのエネルギーを心でしっか

り感じていきなさい。今、心に伝えています。私達は、今、心に伝えています。この思いをどうぞ、喜びで受けていってください。

これからもますます喜びで受け続けていってください。

私達は、あなたの中の喜びを感じています。感じて、感じて、感じています。感じてい
るからこそ、このようにメッセージを伝えています。

どうぞ、肉の思いを、今よりもさらに、さらに薄くして、私達の思いをストレートに伝えてください。喜びのエネルギーをあなたの肉を通して流していきます。どうぞ、どうぞ、その思いをあなたの肉を通して流していきなさい。

一一、私は、田池留吉です。

私は、伝えるべきことは、すべて伝えましたと申し上げました。

後は、瞑想をして、私、田池留吉の世界にどれだけ心を向けてこられるか、それは、それぞれに係っています。

どうぞ、田池留吉の世界に心を向けられるあなたであってくださいと、私は、どなたの

心の中にも、そのように伝えていきます。

皆さんの心の中に、私の思いを語っています。私、田池留吉のほうに心を向けられるか、そして、私、田池留吉をどれだけ信じているか、そこに、その一点に、集約されています。

伝えるべきことは、すでにすべて伝えていきます。後は、瞑想、瞑想です。

瞑想をして、思いを向ける、その向け先をしつかりと自分の中で確認する、ただそれだけです。

そのために、これからの時間を費やしていってください。

瞑想をする時間を、本当に大切にしていってください。

心で感じる世界です。心でしか感じられない世界です。

心で分かる世界です。心でしか分からない世界です。

分かった分、あなたの意識の世界は変わっていきます。

そして、あなたから流れるものが変わっていきます。エネルギーが変わっていきます。そのエネルギーが、自分自身を変えていくのです。

私は、そのように、伝えてきました。

それを、どうぞ、皆さんそれぞれの心の中で、体験してみてください。

一三、広がりゆく宇宙、その波動の世界を、心でどんどん感じてください。

田池留吉の世界を心で感じていけばいくほど、宇宙が分かかってまいります。

宇宙は広い、広い、広がりゆく世界です。その中に、あなたの意識があるのです。あなたはその中に存在しています。心の中に田池留吉の宇宙、アルバートの宇宙、そして、温かい、温かい温もりの世界、その中にあるあなたを思ってください。

心がどんどん広がっていく体験を積み重ねていってください。

どんどんどんどん広がっていきます。

宇宙を思い、心の中に宇宙を思い、田池留吉、その世界を思うこと、それが喜びです。

本当に、今世、このように喜びを伝えられる私、田池留吉の意識は、喜びの中に、今、あなたに伝えていきます。

喜びの中で、私は伝えていきます。喜びをどんどん広げていってください。心が限りなく広がってまいります。喜びのエネルギー、その宇宙に流していきなさい。心の中に、田池留吉、アルバート、どんどん呼んでいくのです。私達の宇宙は、それを待っています。喜びの

宇宙へ帰れることを、私は伝えました。喜びの宇宙、すなわち、温もりの温かい優しい、優しい波動の中にある宇宙、その宇宙を感じていける今世でした。

今世、私、田池留吉という肉を持ちました、心の中に喜びのエネルギーがあることを知ってほしかったからです。

どうぞ、お母さんを追い求めてきたあなたの心の中を、もう少し見つめてみてください。私、田池留吉の世界がさらに、さらに分かっています。

母の温もり、そう、それはすなわち、あなたの温もりです。母の温もりは、あなたの温もり。あなたは優しい、優しい波動、優しい、優しいエネルギーです。その広い、広い世界を、もっと、もっとあなた自身を感じていくのです。

瞑想を続けていく中で、どうぞ、田池留吉の世界に心をどんどん向けていきなさい。さらに、さらに向けるのです。

私達は、あなたとの約束を果たしています。これからの時を経て、私達は、約束を果たしています。

心を田池留吉、アルバート、その宇宙に向けることを喜びとしているあなたを信じています。はい、私達の喜びを今、今、あなたに伝えていきます。

一四、アマテラスの世界に生きてきた心、その心を、それぞれの心の中でしっかりと見ていき、その心を語り、その心を自分の中の優しい温もりで包んでいくことが必要なことでしょう。

アマテラスを避けては通れません。アマテラスの心を心として、宇宙に勢力を伸ばしてきたエネルギー、そのエネルギーが、今、田池留吉のもとに集い、自分の心を見る、自分のエネルギーを知ることをしていきます。

アマテラスに心を向けてきたからこそ、今世、田池留吉の学びに集えたのです。日本の国に肉を持ってきた意識達、アマテラスの思いをどうぞ、どうぞ、しっかりと見つめていただくください。

アマテラスの心を見つめていかなない限り、宇宙を、自分の中に広げてきた宇宙を喜びに変えていくことはできません。それほどアマテラスは、広く、広く、それぞれの心に浸透しています。だからこそ、今世、肉を持って学びに集えたのです。

宇宙を思えばアマテラスでしょう。アマテラスのエネルギーは大きなものでした。もう一度、いいえ何度もアマテラスを見つめていってください。

アマテラスに使ってきた心を、ともに、ともに見つめていってください。

母の温もりに帰るためには、アマテラスの思いを、しっかりと自分の中に受け入れていかなければなりません。

他力のエネルギーと一口に言っても、それは本当に根深いものです。その根っこにあるアマテラスのエネルギー、アマテラスのエネルギーを、しっかりと、自分の中で見つめていくことです。

私は、アマテラスとは関係がない。私は、イエスを崇めてきた、イエスを心に入れてきた。そのようにおっしゃるかもしれませぬ。

ある人達は、イエスを神として崇めキリストの教えに従ってきたと言います。そしてまた、ある人達は、私は、何々の宗教に心を向けてきた、信じてきた、打ち込んできたと言います。

しかしながら、宇宙、その意識の世界を心感じてごらんなさい。やはりアマテラスです。アマテラスは、どなたの心にもある思いです。そのアマテラスのエネルギー、宇宙に闇を広げてきたアマテラスのエネルギーは、どなたの心にもしっかりと残っています。そのアマテラスの思いを見つめていくところ、他力の反省に繋がっていくのです。

アマテラスの心を見つめていく、アマテラスを知っていく、アマテラスを自分の中で受

け入れていく、そのことをやっていかなければなりません。それぞれの中で、それぞれが広げてきた宇宙を変えていくこれからです。

もちろん、宇宙を支配してきたエネルギーは、アマテラスのエネルギーだけではありません。しかし、アマテラス、まずはアマテラスなのです。

まだ皆さんの心の中に、アマテラスがしっかりと鎮座しています。

まずはアマテラスに思いを向け、優しい思いを向けてください。田池留吉の思いを伝えていってください。田池留吉のメッセージ、そして、優しい温もり、母の温もりをアマテラスに伝えていってください。

一五、私は、田池留吉、アルバートの意識です。

どうぞ、しっかりと私達を思い、もつと、もつと心を見つめていってください。心に語ります。優しい思い、温もり、広がり、宇宙の素晴らしさ、限りなく広がっていく真実への道、その思い、その波動、そのエネルギーを心に伝え続けます。

たくさんの宇宙が心に呼びかけてくるでしょう。一つ、一つ受け入れて、大きな、大き

な喜びとしていきなさい。田池留吉、アルバートの宇宙の中で、ともに一つを伝えていきなさい。

私、田池留吉、アルバート、あなたの中で喜びを伝える意識です。母の思いの中にあつたあなたに、今、呼びかけています。今、あなたは、母の思いの中で、私達と出会つています。どうぞ、心をもつと、もつと広げていってください。田池留吉、アルバート、その思いを、あなたの中へ伝えてまいります。私達とともに喜びを伝えてまいります。温もりを伝えてまいります。

一六、今を大切に生きなさい。今という時間を大切に生きなさい。

私からあなたへのメッセージです。今がどれだけ大切な時間なのか、心で感じていると思います。どうぞ、その思いを自分の中にしっかりと広げ、今を大切に生きるその優しさと喜びを感じていってください。

私、田池留吉からのメッセージです。今を大切に生きる、それが二五〇年後のあなたを喜びへとといざなっていくきます。

もちろん、あなたの中には、二五〇年後の思いがしっかりとあります。喜び溢れるあなたを感じていると思います。

そうです。私、田池留吉、アルバート、その意識の中にあるあなたです。

二五〇年後の来世、私との出会い、それからの時間、心に感じている通りです。私達は、次元移行を目指し、ともに歩いていく意識です。今という時間を大切にしていきましょう。

私の世界、その波動の世界を心に広げていけることを喜びとしていくあなたに私は伝えます。

意識の中で、心を通じ合わせていくこと、それが私達の喜びです。たくさん意識達、宇宙に存在する意識達のアクセスを、私達は心で受けていきます。そして、これから二五〇年の間、ともに歩いていこうとメッセージを送ります。溢れる喜び、幸せの中で、私達の道は永遠に続いていきます。

心を田池留吉、アルバート、その宇宙に向けるとき、あなたの中の喜び、私の中の喜び、二つは一つに合わさって、これからの時を過ごしていくことを感じるでしょう。そうです、私達は、一つ。一つの中にあります。今、私はあなたに伝えていきます。一つの喜びを伝えていきます。

田池留吉、アルバート、その宇宙を、心に広げていくあなたに、私は、今伝えます。

異語を通して、この思いを伝えます。異語は喜びです。異語はパワーです。私のパワー、喜びのパワー、異語を通して、あなたに伝えています。

宇宙を呼んでいく喜びを心にかけていってください。宇宙をどんどん広げていってください。確かなる宇宙、母なる宇宙へ思いを向けていくこと、それだけが喜びです。宇宙を思い、瞑想を続けていくこと、それだけが喜びです。喜びが溢れてくる二五〇年の間、その喜びを私達は今、伝えています。地球上の様々な出来事を心に感じていってください。すべては喜びに繋がっていく道、すべては次元移行へ繋がっていく道です。

一七、肉は、田池留吉の世界、その宇宙を心で感じる喜びの器です。田池留吉の世界を心いっぱいを感じる時間を喜んで、喜んで過ごしていってください。

心の中に田池留吉を呼べる、それがとても嬉しい。そんなあなたを私は感じています。田池留吉の世界がどんどん広がっていくでしょう。田池留吉の世界は無限大です。あなたの中でその思いを、しっかりと知っていってください。留まることはありません。

心が無限大に広がっていく喜びをお伝えします。心の中に、田池留吉と素直に呼べる喜び、田池留吉の世界、お母さんの温もり、母なる宇宙への思いを、心を広げて、広げて、感じていってください。

私、田池留吉はいつも伝えていきます。田池留吉の肉を見ては何も分かりません。田池留吉の肉は愚かです。田池留吉の肉を見て、田池留吉の世界を心で感じることはできません。

田池留吉の世界、その世界は無限大です。私は、無限大に広がっていきます。はい、ともに歩いていきましょう。ともにともに、喜びを共有していきましょう。

一八、肉を最大限に活かしていきなさい。田池留吉、アルバートの世界を広げるために、その肉を最大限に使っていくのです。

肉はそのためにあります。田池留吉、アルバートの世界を心に広げること、そのためにあなたの肉があります。そのために、あなたの今があります。今世、このようにして、日本の国に生まれてきたあなたの肉、そして、あなたの意識の世界、私達の意識の世界とともに

歩みを進めていくことを、私達は約束しました。

母なる宇宙を目指して、私達はともに歩む意識、そのことを、ずっと、ずっと、以前からお伝えしてきました。

どうぞ、この道をまっすぐに歩いていくことを喜びとして、あなたのこれからの時間も、喜び、喜びを広げていってください。

私達とともに歩める意識、私達は喜びです。田池留吉、アルバート、その宇宙、その宇宙の中には喜びしかありません。

母から肉をいただき、そのようにあなたも心で感じられること、喜びです。はい、嬉し
いのです。とても嬉しいです。心と心の出会いがありました。

意識と意識の出会いがありました。こんな嬉しいことはありません。

三次元の中で、このような出会いがあったこと、喜びです。ありがとうございます。こ
れからの時間、本当によくお願いいたします。

私達の宇宙、喜び、喜びで、これからの時を迎えてまいります。宇宙に渦巻く他力のエ
ネルギー、そのエネルギーのすごさを地球人類はもちろん、宇宙のすべてが感じていくでし
よう。

このエネルギーは、すべて喜びなんです。喜びへ帰っていくエネルギー、母なる宇宙へ帰っていくエネルギーです。ああ、そうなんです。これからの時間、このことがはつきりと示されていきます。

田池留吉、私は一つの肉をいただきました。

今、私はその肉を通して、田池留吉の世界を感じさせていただいています。異語とともに喜びが心に伝わってきます。確かにある温もりの世界を心に広げられること、喜びです。

田池留吉の世界へ心を向ける喜びを感じています。苦しい中にあつた意識達すべてが喜んでいきます。はい、私は喜び、喜びのエネルギーです。これからも、はい、ともに歩いてまいります。

はい、お母さんありがとうございます。こんなに幸せな時はございません。

あなたにすべてを委ねてきた私の思いが、喜びを伝えてくれます。母の胸に抱かれて喜びの私がありました。お母さん、ともに帰ってまいります。苦しい意識達、宇宙に広がる私の仲間達とともに、母なる宇宙へ帰っていきます。

お母さん、この三次元、ありがとうございます。ありがとうございました。

一九、私は田池留吉です。真実の世界を伝えていく意識の流れ、その意識の流れを心で感じ、そのことを伝えていきなさい。これから伝えていくんです。あなたが肉を持っている間、そのことをあなたの仕事としていつてくください。

心から田池留吉を呼び、田池留吉の思いを波動として、流していく仕事です。

そして、あなたもやがてその肉を離していきます。

肉があってもなくても私達は一つ。一つの世界を伝えていける喜びを広げていくでしょう。それが、これからの二五〇年に至る時間、そして次元移行、次元移行後、私達はともにともに存在してまいります。

その人、田池留吉 第2巻 (ホームページより)

2011年9月20日 第1版第1刷発行

編集 / 発行 U T A会

印刷 / 製本 モリモト印刷株式会社

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

© 2011 Printed in Japan